SONY®

マルチコントロール
オーディオマスター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT

MiniDisc

MDLP

WX-7700MDX

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

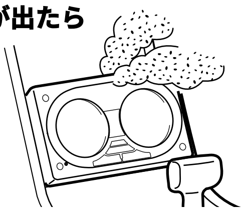
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



❶ **安全な場所に車を止める**

❷ **電源を切る**

❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電


指挟み

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止

目次

⚠警告



火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

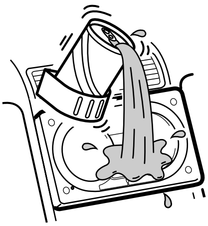
万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

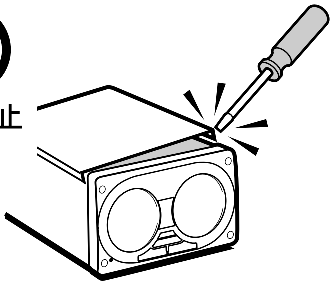


分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

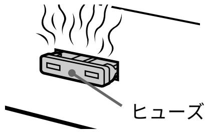
分解禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

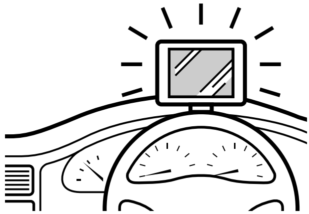
禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。

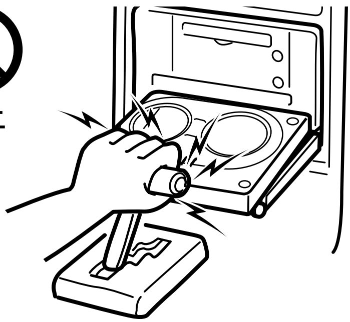
禁止



走行中はフロントパネルを開けない

車両によってはフロントパネルが開いていると運転操作の妨げになる場合があります。この場合は、CDおよびMDの取り出しや交換は必ず車を止めて行って下さい。また、フロントパネルを閉めてから走行してください。

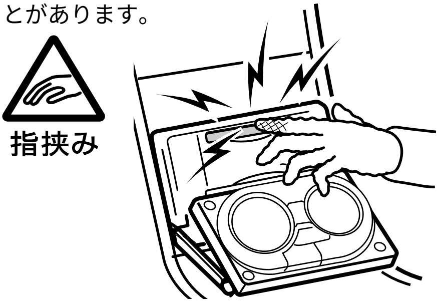
禁止



⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車**に**損害**を与えたりすることがあります。

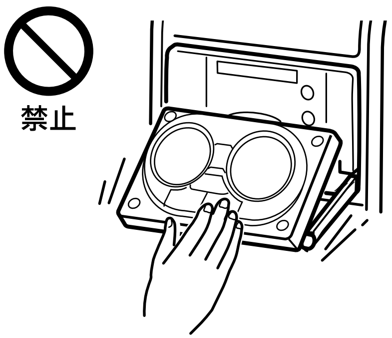
ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



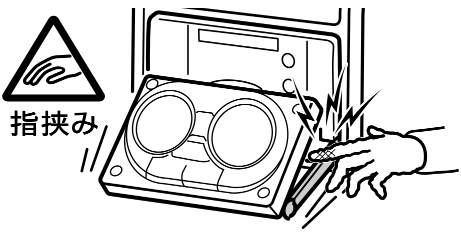
フロントパネルを閉じるときは

フロントパネルに傾斜をつけている（60ページ）ときや、開ききっているときに無理な力を加えて閉めたりしないでください。故障の原因になります。必ずOPEN/CLOSEボタンで開閉して下さい。



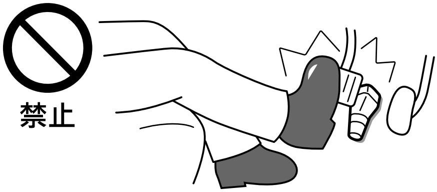
フロントパネルの開閉中は、手を近づけない

手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



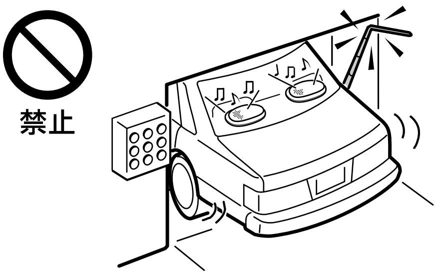
ワイヤレスロータリーコマンダーに付属のストラップを使用する

ハンドル付近に取り付けるときは、ネジ止めの後必ずストラップを本機に付けてお使いください。ストラップを使用しないと、運転中、ロータリーコマンダーがブレーキの下などに落下して運転の妨げになり、事故やけがの原因となります。



アンテナの高さより低い場所（駐車場や洗車機など）へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



ACCポジションのないお車のときは

OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために

車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように充分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。
本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



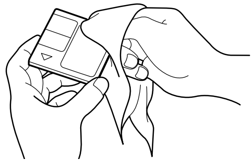
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

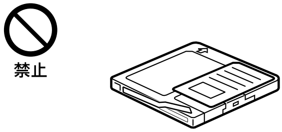
カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



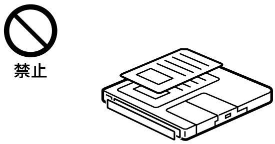
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

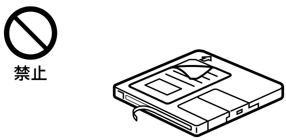
- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



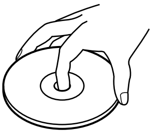
- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



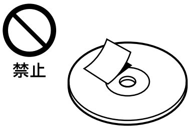
CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

取り扱いかた



記録面に触れないように持つ。

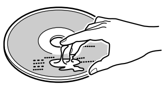


ディスクに紙などを貼らない。
キズをつけない。

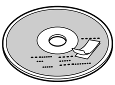
こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

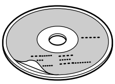
- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの
  またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- レンタルCDでシールなどがめくれているもの



- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの



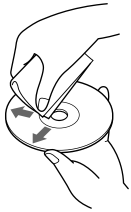
本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形やハート形、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

保存



ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。
特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。

お手入れ



演奏する前に、演奏面についたホコリやゴミ、指紋などを市販のクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。
ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。
静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

CD-R/CD-RWについて

- 本機はお客様が編集された音楽用*のCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。

* 音楽用CD-RおよびCD-RWディスクには下記のマークが印刷されています。

下記のマークが印刷されているディスクは、音楽用CD-RおよびCD-RWではありません。

はじめに

- 本機1台でCD/MD、ラジオの3メディアに対応。
- 長時間録音したMDを再生できるMDLP機能搭載。
  — MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMD機器などで再生することはできません。
- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO（ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー）機能搭載。
- 好みの音質に調整可能な7バンドイコライザー（EQ7）機能搭載。
- 運転感覚で操作できるワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）に対応。

また、以下に記載した別売りの機器（ソニー製）も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー、MDチェンジャー
- 携帯電話用ハンズフリーユニットXCH-1000

この取扱説明書では、主に右側の操作の表示窓を見ながらカードリモコンを使って操作、設定をしていくように書かれています。
また本機の使いかたの他に、別売りのワイヤレスロータリーコマンダー、ソニー製CD/MDチェンジャーや携帯電話用ハンズフリーユニットを接続した場合の操作方法についても説明しています。

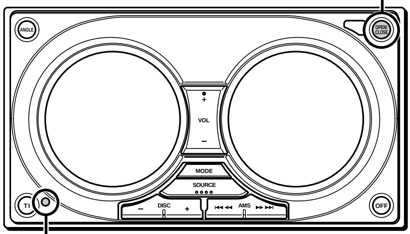
まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

ご注意

- フロントパネルが開いているときは、OPEN/CLOSEボタンを押してフロントパネルを閉じてからリセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押した後は、必ずOPEN/CLOSEボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルが開いてから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。
- 初期設定動作中は、CDまたはMDを入れないでください。正常にリセットされず、故障の原因となります。
- すでにディスクが入っている場合は、フロントパネルが開くと自動的にディスクが出てきます。挿入し直してから操作してください。
- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、「デモに好きな文字を表示させる」（58ページ）でDemo offに設定してください。

OPEN/CLOSEボタン

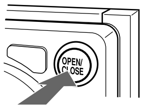


リセットボタン

CD/MD・ラジオの聞きかた

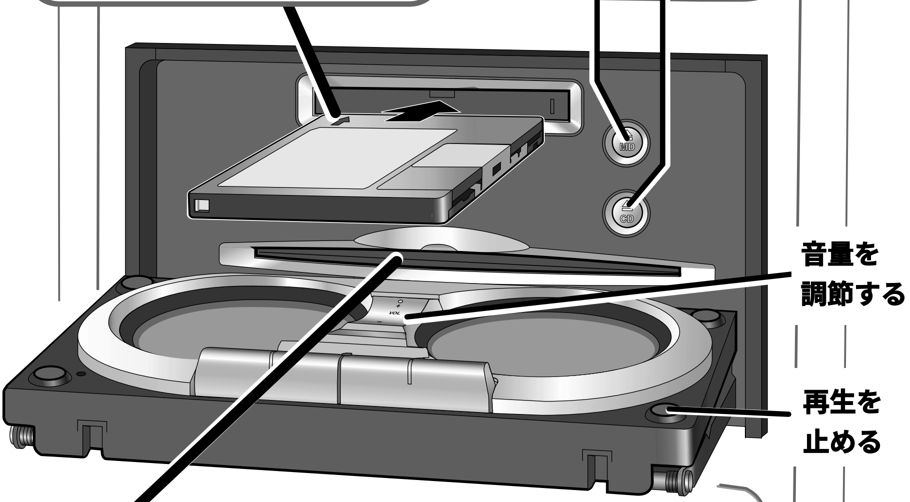
1 パネルを開ける

OPEN/CLOSEボタンを押します。



2 MDを聞く

ラベル面を上にして⇧の向きに入れます。



2 CDを聞く

ラベル面を上にして入れます。

3 パネルを閉じる

OPEN/CLOSEボタンを押します。

ディスクが入っているとき、右側の表示窓に点灯します

：MD　：CD

ディスクが入っているときは

SOURCE ボタンを押して

「CD」または「MD」を選ぶと再生が始まります。

本機は8cmCDがそのまま再生できます

8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると故障の原因になりますので使用しないでください。

曲の頭出し

再生中にAMSボタンを押して離す。

▶▶ ▶▶I　：次の曲へ進む

I◀◀ ◀◀　：曲の頭や前の曲へ戻す

戻したい曲の数だけ押します。

聞きながら探す（サーチ）

再生中にAMSボタンを押し続ける。

▶▶ ▶▶I　：先に進める

I◀◀ ◀◀　：前に戻す

指を離すと、そこから再生されます。

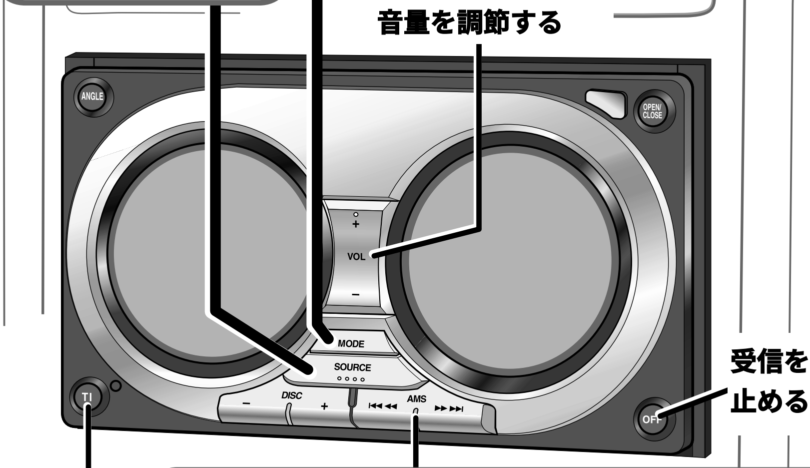
ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとにFM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1と切り換わります。

音量を調節する



受信を止める

交通情報を聞く

自動選局で受信する（自動選局）

AMSボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

▶▶ ▶▶| ：高い周波数へ
|◀◀ ◀◀ ：低い周波数へ

希望の放送局を受信する（手動選局）

AMSボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。

▶▶ ▶▶| ：高い周波数の放送局を探す
|◀◀ ◀◀ ：低い周波数の放送局を探す

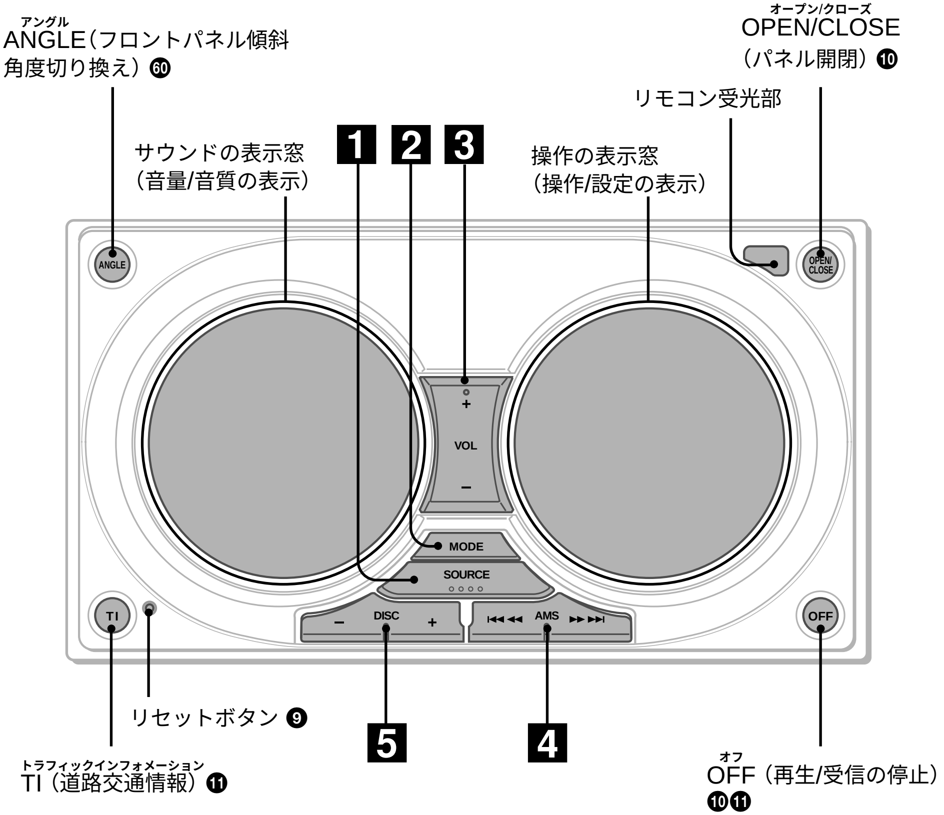
フロントパネルは開けてから約35秒後、自動的に閉まります。

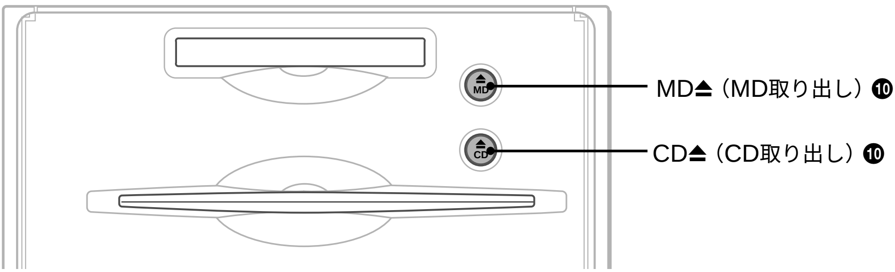
ご注意

- ディスクを挿入してから、または最後に本体やリモコンのボタン操作をしてから約30秒後にピピッという警告音がなります。その5秒後にフロントパネルが自動的に閉まります。
- 8cmCDやMDを排出した後、挿入口から取り出さないでそのまま放置しておくと、フロントパネルは閉まりません。
- 12cmCDは、CD保護のため、排出後約15秒後に自動的に本機に引き込まれます。
- 開いた状態のフロントパネルに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。





ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

ソース
1 SOURCE*1（ラジオ/CD/MD/AUX Audio/TEL*2切り換え）

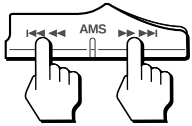
モード
2 MODE

ラジオ	FM1/FM2/AM1/AM2 切り換え
MD	MD機器選択*2
CD	CD機器選択*2

ボリューム
3 VOL +/–（音量調節）

+*1	大きく
–	小さく

エーエムエス
4 AMS（頭出し/ラジオ選局/EQ/POS/BAL/Front/Rear/Subの調整/設定選択）



ラジオ	周波数の低い 放送局へ （押し続ける）	周波数の高い 放送局へ （押し続ける）
CD/MD	前の曲へ 早戻し （押し続ける）	次の曲へ 早送り （押し続ける）
TEL*2	着信履歴	発信履歴

ディスク
5 DISC –/+（プリセットサーチ／ディスク選択／メニュー項目選択）

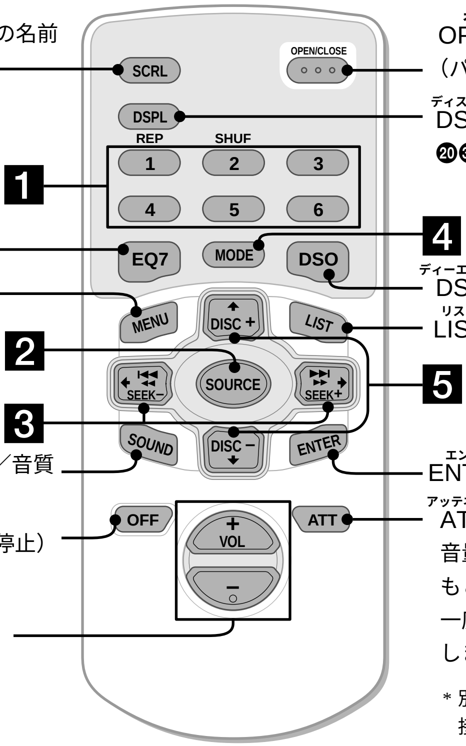
ラジオ	登録した局の選局
CD/MD*2	ディスクの選択 （チェンジャー接続時）

*1 凸点（突起）がついています。
操作の目印としてお使いください。

*2 別売りの機器（ソニー製）が接続されているとき

カードリモコンの操作

各種メニュー設定を行う操作は、カードリモコンで行います。
安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。



SCRL（スクロール）（11文字以上の名前スクロール）⑳

OPEN/CLOSE（オープン／クローズ）（パネル開閉）

DSPL（ディスプレイ）（表示切り換え）⑳㉚

EQ7（イーキューセブン）（音質選択）㊺

MENU（メニュー）（各種設定モードに入る）

DSO（ディーエスオー）㊷

LIST（リスト）FM/AM プリセットの一覧
CD/MD ディスク名の一覧*

SOUND（サウンド）（音量調節／音質選択）㊼㊽㊿52

ENTER（エンター）（各種設定の確定）

OFF（オフ）（再生／受信の停止）⑱58

ATT（アッテネート）㊼
音量を瞬時に小さくします。もとの音量に戻すには、もう一度押すかVOL+ボタンを押します。

VOL +/–（音量調節）37 40

＊ 別売りの機器（ソニー製）が接続されているとき

RM-X110

ちょっと一言

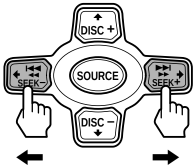
リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」（63ページ）をご覧ください。

1 数字（1〜6）ボタン

ラジオ	放送局の登録/選択 ㉚㉝
CD/MD	1: REPボタン ㉒ 2: SHUFボタン ㉓
TEL*	電話番号の登録/選択 ㊵

2 SOURCE（ソース）（ラジオ/CD/MD/AUX Audio/TEL*切り換え）
⑱㉙㉚㉝㊲㊴㊵㊶㊾

3 カーソル←/→（SEEK/AMS）（シーク/エーエムエス）
（頭出し/ラジオ選局/設定選択）



←　→

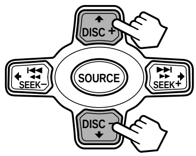
	←	→
ラジオ	周波数の低い放送局へ（押し続ける）㉛㉝	周波数の高い放送局へ（押し続ける）㉛㉝
CD/MD	前の曲へ（短く押す）早戻し（押し続ける）⑲㉖	次の曲へ（短く押す）早送り（押し続ける）⑲㉖
TEL*	着信履歴 ㊲㊵	発信履歴 ㊲㊵
イコライザープリセット設定	前へ ㊺㊻	次へ ㊺㊻
リスニングポジション	前へ ㊾	次へ ㊾
バランス	左へ ㊼	右へ ㊼
フロント	低く（–）㊿	高く（+）㊿
リア	低く（–）㊿	高く（+）㊿
サブウーファー出力設定	小さく（–）52	大きく（+）52

4 MODE（モード）

ラジオ	FM1/FM2/AM1/AM2 切り換え ㉙㉚㉝
CD/MD*	CD/MD機器選択 ⑱

5 カーソル↑/↓（DISC/PRESET）（ディスク/プリセット）
（プリセットサーチ/ディスク選択/メニュー項目選択）

↑（次へ進む）



↓（前へ戻る）

	↑	↓
ラジオ	登録した局の選局 ㉚㊱	
CD/MD	ディスクの選択 ⑲（チェンジャー接続時）	
時刻の設定	進む（+）⑰	戻る（–）⑰
イコライザーレベル調整	大きく（+）㊻	小さく（–）㊻

メニュー項目選択時に2秒以上押し続けると、メニュー項目のカテゴリーをスキップすることができます。

＊ 別売りの機器（ソニー製）が接続されているとき

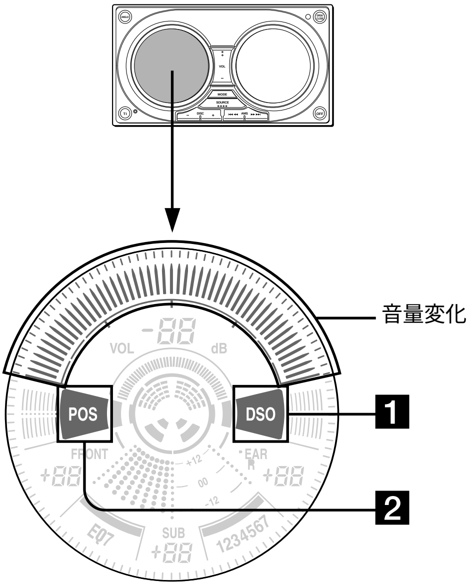
ご注意

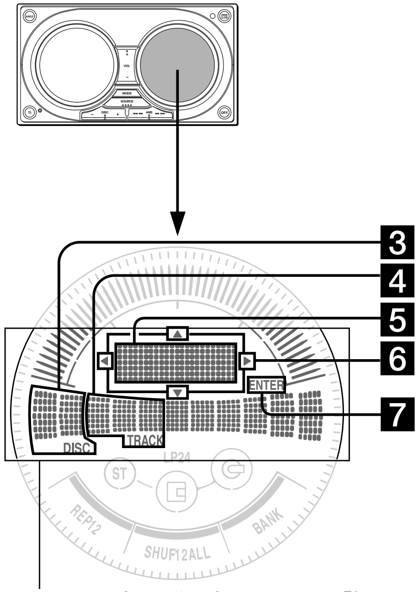
本体またはカードリモコンやワイヤレスロータリーコマンダーのOFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してある場合は、カードリモコンまたはワイヤレスロータリーコマンダーで本機を操作できません。操作できるようにするためには、まず本体のSOURCEボタンを押すか、ディスクを挿入して本機の電源を入れてください。

表示窓の説明

サウンドの表示窓
（音量／音質の表示）

操作の表示窓
（操作／設定の表示）





この取り扱い説明書では、主に「操作の表示窓」を見ながらカードリモコンを使って、操作／設定をしていきます。

1 DSO**表示** ㊷㊸
DSO（ダイナミックサウンドステージオーガナイザー）設定中に点灯します。

2 POS**表示** ㊽㊾
POS（リスニングポジション）設定中に点灯します。

3 DISC**番号表示** ⑱
別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続し、チェンジャー内のディスクを再生中の時のみディスク番号を表示します。

4 TRACK**番号表示** ⑱
CD/MD再生中に曲番号を表示します。

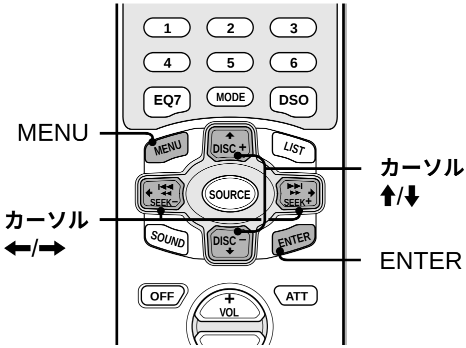
5 **各種項目表示**

6 **カーソル表示**
メニュー操作中、選択可能なカーソルボタンを示す▲が表示窓に表示されます。

7 ENTER**表示**
各種設定で、項目を選択した後、ENTERボタンを押す必要がある時点灯します。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



ご注意

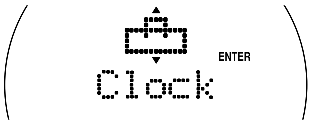
- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- ACCポジションのないお車のときは、SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

ちょっと一言

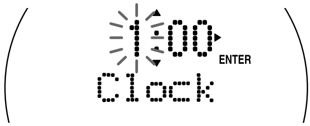
D.Info機能を「on」に設定すると、再生中や受信中は常時時計が表示されます（54～55ページ）。

1 MENU**ボタンを押す。**

2 **カーソルボタンの↑または↓を押して「**Clock**」を選ぶ。**



3 ENTER**ボタンを押す。**



❶ ↑または↓を押して「時」を合わせます。

❷ →を押して「分」の位置に移動し、↑または↓を押して「分」を合わせます。

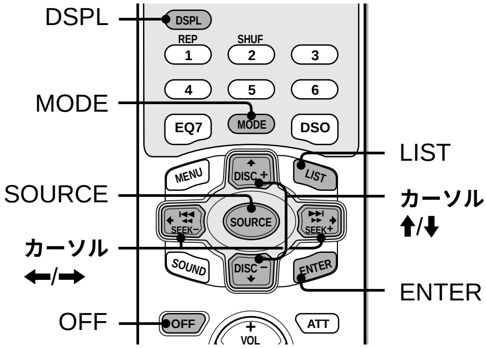
↑を押すと数値が進み、↓を押すと数値が戻ります。

4 **設定後、**ENTER**ボタンを押す。**

設定時刻が登録され、通常画面に戻ります。

CD/MDを聞く

本機の他に別売りのソニー製CD/MD機器を接続して、CDやMDを再生できます。本機またはCD TEXT対応のCD機器にてCD TEXTディスクを再生中に、その文字情報（アルバム名、アーティスト名、曲名など）を表示することができます。



CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

*1 別売りのソニー製CD/MD機器が接続されている場合のみ表示します。

*2 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみ表示します。

ご注意

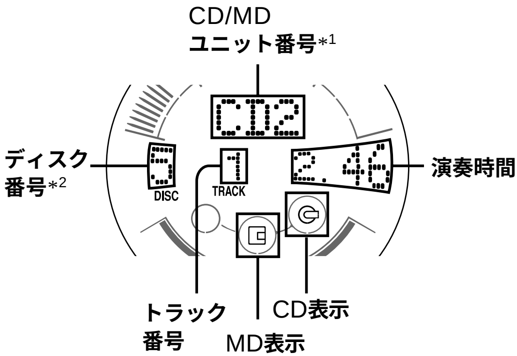
MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。別売りのCD/MD機器を接続している場合は、同じソースのCD/MD機器内の次のディスクを再生します。

聞きたい機器を選ぶ

1 **SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。**



2 **MODEボタンを繰り返し押して、聞きたいCD/MD機器（本機または別売りのソニー製CD/MD機器）を選ぶ。**

CDの場合

CD1（本機）→ CD2（CD機器1）*1 →
CD3（CD機器2）*1 → … → CD1 →

MDの場合

MD1（本機）→ MD2（MD機器1）*1 →
MD3（MD機器2）*1 → … → MD1 →

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

CD/MDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中に↑または↓を繰り返し押す。

次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換わります。

聞きたい曲を選ぶには

再生中に←または→を繰り返し押す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中に←または→を押し続けて、聞きたいところで離す。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「__.__」または「¯¯.¯¯」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

MG-MSシステムアッププレーヤーMGS-X1（別売り）を再生するには

1. SOURCEボタンを押して「MD」を選ぶ。
2. MODEボタンを押して「MS」を選ぶ。

MGS-X1をMD2に接続した場合
MD1（本機）→ MS（MGS-X1）→
MD3（MD機器3）* → … → MD1 →

* 別売りのソニー製MD機器が接続されている場合のみ表示します。

CD・MD

次のページへつづく

ちょっと一言

- 本機ではMDやCD TEXTに記録されているディスク／アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字、記号、カタカナのみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたMDを再生した場合は「NO D.Name」または「NO T.Name」と表示されます。
- CD TEXTに記録されていても、曲ごとのアーティスト名は表示されません。

ご注意

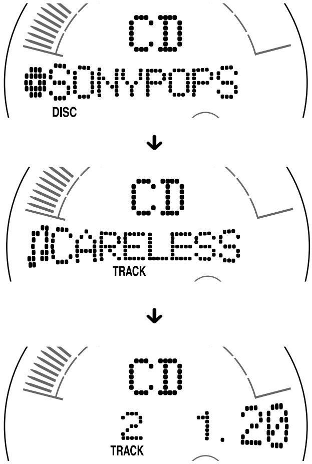
CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押して表示を切り換えます。

長い名前は自動的にスクロール表示します。

CD TEXT対応ディスクの再生の場合



ディスク名/アーティスト名*1*2

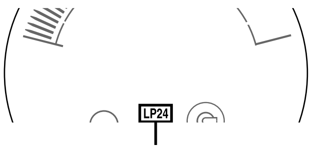
曲名*3 **（MDとCD TEXTのみ）**

曲番号と再生経過時間

*1 ディスク名がついていないときは「NO D.Name」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。
*2 CD TEXTにディスクメモ機能（24ページ）で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。
*3 曲名がついていないときは「NO T.Name」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

MDLP表示について

録音モードにより、MD再生時の表示が換わります。



LP2：LP2**ステレオ再生時**
LP4：LP4**ステレオ再生時**

長い名前（11文字以上）を見るには

CD TEXTまたはMDの再生中に、SCRLボタンを押します。

ご注意

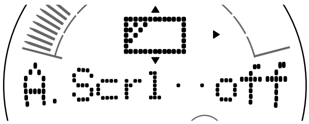
- 曲名のオートスクロールは、DSPLボタンを押して曲名表示にしているときだけです。
- ディスク名のオートスクロールは、DSPLボタンを押してディスク名表示にしているときだけです。
- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

オートスクロールの設定

MDまたはCD TEXT対応CDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったとき、SOURCEをCDまたはMDにしたときに、この設定を「on」にしておくと11文字以上のディスク名および曲名を自動的にスクロール表示させることができます。

1 CD**または**MD**の再生中に**MENU**ボタンを押す。**

2 **↑または↓を押して「**A.Scrl**」を表示させる。**



3 **→を押して「**A.Scrl···on**」を選ぶ。**

4 ENTER**ボタンを押す。**

通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには

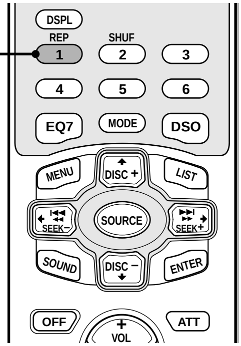
手順3で「A.Scrl··off」を選びます。

CD・MD

繰り返し聞く
（リピート再生）

再生中の曲のみ、またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。

数字ボタン1（REP）



CDまたはMDを再生中に、数字ボタン1（REP）を繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります

→ Repeat····1 → Repeat····2* → Repeat··off →

- 1曲のみ繰り返す ....「Repeat····1」にする。
- 再生しているディスクを繰り返す
  ....「Repeat····2」*にする。

* ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

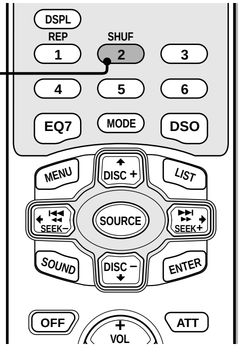
リピート再生をやめるには

数字ボタン1（REP）を繰り返し押して「Repeat··off」を選びます。

曲順を変えて聞く
（シャッフル再生）

再生中のディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。

数字ボタン2（SHUF）



ご注意

「Shuffle·All」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

ちょっと一言

「Shuffle···2」「Shuffle·All」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

CDまたはMDを再生中に、数字ボタン2（SHUF）を繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

Shuffle···1 → Shuffle···2* → Shuffle·All* → Shuffle·off → （Shuffle···1に戻る）

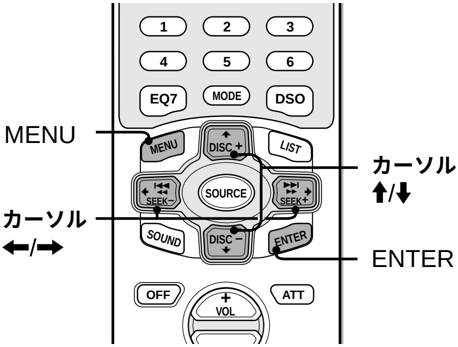
- 再生しているディスクの全曲を順不同に再生するには ……………… 「Shuffle···1」にする。
- 再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生するには ……………… 「Shuffle···2」*にする。
- 再生しているソース（CDまたはMD）のすべての機器の全ディスクを順不同に再生するには ……………… 「Shuffle·All」*にする。

* CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

数字ボタン2（SHUF）を繰り返し押して「Shuffle·off」を選びます。

ディスクに名前をつける
（カスタムファイル
ーディスクメモ）



カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャー（ソニー製）を接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモ、バンク、リスト機能を楽しむことができます。

ご注意

CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモ、バンク、リスト機能を操作することはできません。

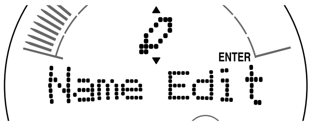
ちょっと一言

- ↑を押すごとに A → B → C → ... Z → 0 → 1 → 2 → ... 9 → ＋ → − → ＊ → ／ → ＼ → 〉→〈 → . → ␣ → A と変わります。↓を押すと、逆順に表示されます。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- スペースを入れたいときは、「␣」（下線）を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、←を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- 手順2、3、4の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けてもディスクメモ入力モードになります。また手順6の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けても通常の画面に戻ります。

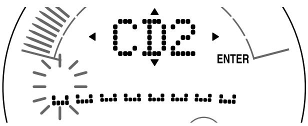
1 名前をつけたいCDを再生する。

2 MENUボタンを押す。

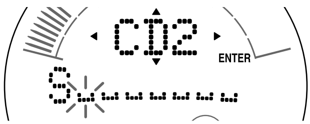
3 ↑または↓を押して「Name Edit」を選ぶ。



4 ENTERボタンを押す。



5 ↑または↓を押して入力する文字を選び、→を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて→を押します。

6 手順5を繰り返して、名前を入力し終えたらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- 手順4では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前がみつからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

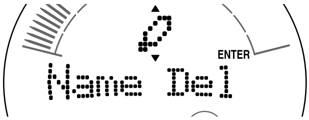
ちょっと一言

「ディスクに名前をつける」（24ページ）の手順5で、すべての文字に「_」（下線）を入力して名前を消すこともできます。

名前を消去するには

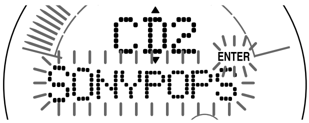
1 **CDチェンジャー内のCDを再生中にMENUボタンを押す。**

2 **↑または↓を押して「Name Del」を選ぶ。**



3 **ENTERボタンを押す。**

4 **↑または↓を押して消去するディスクの名前を選ぶ。**



5 **ENTERボタンを2秒以上押し続ける。**

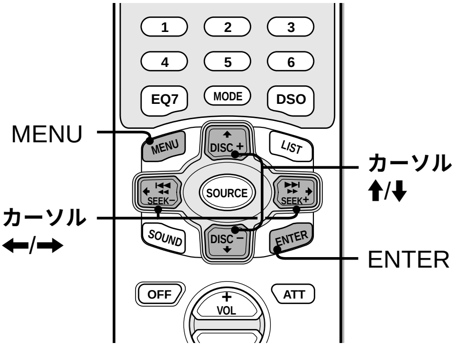
選択したディスクの名前が消去されます。
ほかのディスクの名前を消すときは手順4、5を繰り返します。

6 **MENUボタンを2回押す。**

通常の画面が表示されます。

CDの聞きたい曲だけを聞く
(カスタムファイルーバンク)

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、別売りのソニー製CD機器を接続してディスクメモ機能（24ページ）で名前をつけたCDのみです。



ご注意

- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- 「Skip」の設定は1枚のCDで24曲目までできます。
- 「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

ちょっと一言

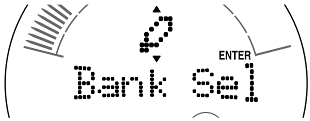
名前をつけていないCDを再生中に「Bank Sel」を選びENTERボタンを押すと、「NO Name」と表示されます。

とばす曲を指定する

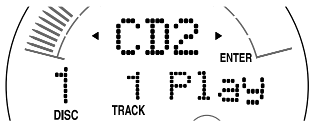
1 **名前をつけたCDを再生する。**

2 **MENUボタンを押す。**

3 **⬆または⬇を繰り返し押して、「Bank Sel」を選ぶ。**



4 **ENTERボタンを押す。**



5 **⬅または➡を押してとばしたい曲の番号を表示させて、ENTERボタンを押す。**



表示が「Play」（再生する）から「Skip」（とばす）に変わります。「Play」に戻すときは、もう1度ENTERボタンを押します。

6 **手順5を繰り返して、とばす曲全部に「Skip」を設定する。**

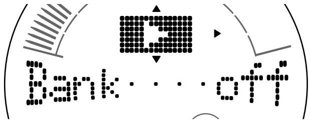
7 **MENUボタンを2回押す。**

通常の画面が表示されます。

曲をとばしながら聞く

1 **CDを再生中にMENUボタンを押す。**

2 **↑または↓を繰り返し押して「Bank」を選ぶ。**



3 **➡を繰り返し押して、再生のしかたを選ぶ。**

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

→ Bank·····on → Bank····inv → Bank····off →

「Play」（再生する）を設定した曲だけ再生する
.... 「Bank·····on」にする。

「Skip」（とばす）を設定した曲だけ再生する
.... 「Bank····inv」にする。

4 **ENTERボタンを押す。**

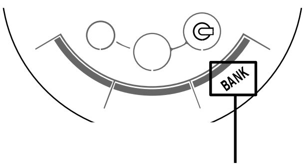
通常の画面が表示されます。

バンク再生をやめるには

手順3で「Bank····off」を選びます。

表示について

Bank再生中は、次のように表示します。



「Bank·····on」：点灯
「Bank····inv」：点滅

ご注意

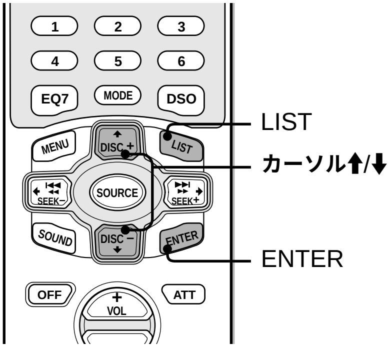
メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

ディスクを名前で探す（リスト）

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名前の記録されているMDを再生する場合
- 別売りのCD TEXT対応ソニー製CDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生する場合
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製CDチェンジャーでCDを再生する場合*

* CDについてはディスクメモ機能（24ページ）で名前をつけてからこの機能をお使いください。



ご注意

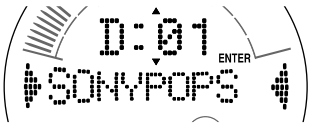
- リスト表示中5秒以内に⬆または⬇を押さないと、通常の画面に戻ります。
- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。
  - —「---------」：ディスクが入っていない。
  - —「·········」：
    - – 名前をつけていない。
    - – CD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
  - —「?」：ディスク情報をまだ読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。
- ワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）では操作できません。

ちょっと一言

- 選択をキャンセルするにはLISTボタンを押します。
- 現在再生中のディスク名の左右には「▶ ◀」が表示されます。

1 **CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中にLISTボタンを押す。**

ディスク名のリストが表示されます。



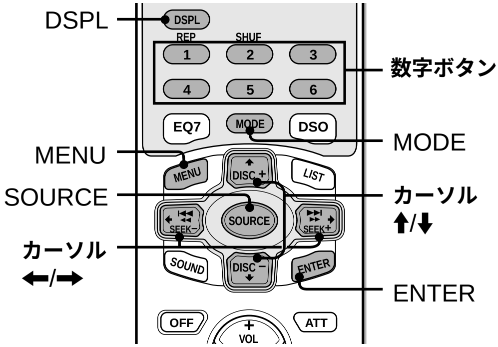
2 **⬆または⬇を押して聞きたいディスク名を表示させる。**

3 **ENTERボタンを押す。**

再生が始まります。

放送局を自動で登録する

受信できる放送局を自動的に登録します。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ登録できます。



ちょっと一言

- エリアコールとは、地域別にあらかじめ登録されている放送局のことです。
  地域を指定するだけで受信できる放送局（71ページ）が一度にプリセットチャンネルに登録されます。
- 手順2でMODEボタンを押すごとに
  FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
  と切り換わります。

ご注意

- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- エリアコールを設定すると、AM1とAM2の数字ボタン6に道路交通情報（1620kHz）が設定されます。

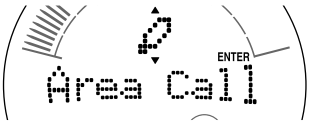
エリアコールを設定する

1 SOURCE**ボタンを押して、ラジオ受信にする。**

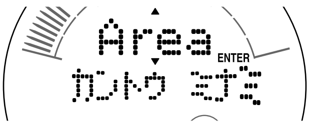
2 MODE**ボタンを押して「**FM**」または「**AM**」を選ぶ。**

3 MENU**ボタンを押す。**

4 **↑ または ↓ を繰り返し押して、「**Area Call**」を選ぶ。**



5 ENTER**ボタンを押す。**



6 **↑または↓を押してエリアを選び、**ENTER**ボタンを押す。**

「センキョクチュウ」が表示されて設定されます。

次のページへつづく

ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。

ご注意

- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネル放送局が登録されます。

受信状態の良い放送局を設定する

1 SOURCE**ボタンを押して、ラジオ受信にする。**

2 MODE**ボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。**

3 MENU**ボタンを押す。**

4 **↑ または ↓ を繰り返し押して、「**BTM**」を選ぶ。**

5 ENTER**ボタンを押す。**

「BTM」（ベストチューニングメモリー）が点滅表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終わると通常の表示に戻ります。

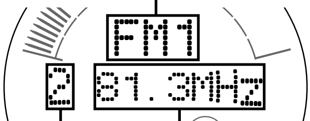
登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中にMODE**ボタンを押してバンドを選び、数字ボタン、↑または↓を押して聞きたい放送局を選ぶ。**

表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して表示を切り換えます。

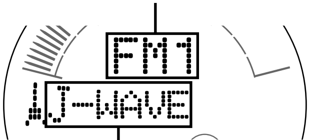
バンド表示



登録番号　**周波数**

⇕

バンド表示



放送局名*

＊ 名前がついている場合のみ表示されます。名前の登録のしかたについては、34ページをご覧ください。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中に⬅または➡を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで⬅または➡を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
  1 ラジオ受信中に、MENUボタンを押す。
  2 ⬆または⬇を繰り返し押して、「Local」を表示させる。
  3 ➡を押して「Local…on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「Local‥off」を選びます。

ちょっと一言

- ⬅または➡を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。
- ローカル受信中は、放送局を探している間「LCL Seek」と表示されます。

ご注意

メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

道路交通情報を聞くには（トラフィックインフォメーション）

本体のTIボタンを押します。（パワーアンテナが自動的に上がります。）

⬅または➡を押すと、周波数（1620kHz/1629kHz）を切り換えることができます。

もとのソースに戻すには

もう一度TIボタンを押します。（パワーアンテナが自動的に下がります。）

ちょっと一言

- 道路交通情報（AM 1620kHzまたは1629kHz）の放送地域内で聞くことができます。
- ラジオ以外のソースのときでもTIボタンで切り換えることができます。

ステレオ放送が聞きにくいときは

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
2 ⬆または⬇を繰り返し押して、「Mono」を表示させる。
3 ➡を押して「Mono…on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「Mono…off」を選びます。

ちょっと一言

FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「off」にすると聞きやすくなります（42ページ）。

次のページへつづく

ご注意

- IF Autoモードを「Wide」にして雑音が入り聞きにくい場合は、「IF Auto」に戻してください。
- FMステレオ放送受信時にDSO設定の「WIDE」や「WIDE-SP」を選択していると、電波状況の良くない場所で音量が変化して聞きづらくなる場合があります。この場合、DSO設定を「STD」にすると聞きやすくなります。
- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

受信周波数帯域幅を自動的に調整する（IF Autoモード）

FM受信中、受信している周波数の近くに他の放送局があると、他の放送局の混信による雑音で放送が聞きにくくなることがあります。この場合「IF Auto」に設定すると、受信する周波数帯域幅を自動的にせばめて放送を聞きやすくします。
このためステレオ放送がモノラルになることがあります。
このような場合でもIF Autoモードを「Wide」に固定するとステレオで聞くことができます。

1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
2 ⬆または⬇を繰り返し押して、「IF····Auto」を表示させる。
3 ➡を繰り返し押して、「IF····Wide」を表示させる。
4 ENTERボタンを押す。

FMダイバーシティアンテナで受信するときは

本機にFMアンテナ2本（ダイバーシティシステム）を接続しているときは「on」に設定します。

1 **FM受信中にMENUボタンを押す。**

2 **⬆または⬇を押して「Diver」を選ぶ。**

3 **➡を押して「Diver····on」を選ぶ。**

4 **ENTERボタンを押す。**

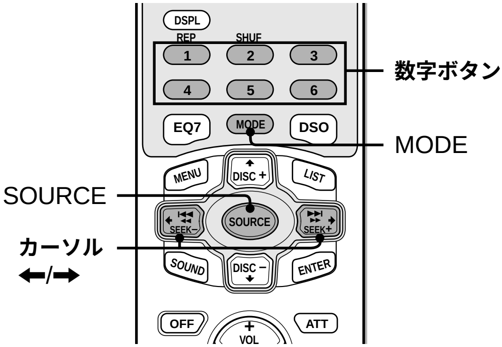
通常の画面が表示されます。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「Diver···off」を選びます。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



ご注意

すでに登録してある番号に同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局の登録は消えてしまいます。

ちょっと一言

- ←または→を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ設定できます。

1 SOURCE**ボタンを押してラジオ受信にする。**

2 MODE**ボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。**

押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。

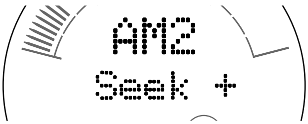
3 Ⓐ 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき

その放送局の周波数になるまで、←または→を押し続ける。

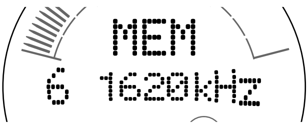
Ⓑ 聞きたい放送局の周波数がわからないとき

←または→を押して離す。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



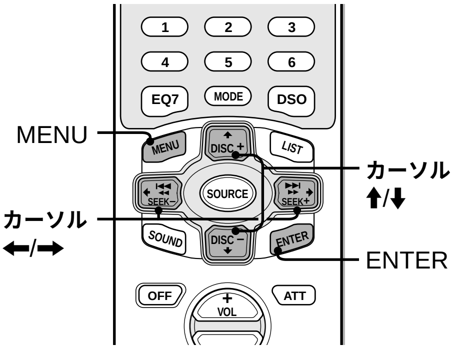
4 登録したい数字ボタンを「MEM**」が表示されるまで**2**秒以上押し続ける。**



押した数字ボタンの番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

放送局に名前をつける
（ステーションメモ）

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



ご注意

メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

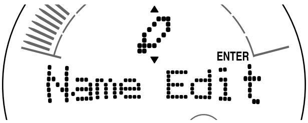
ちょっと一言

- ⬆を押すごとに
A → B → C → ...Z → 0 → 1 → 2 → ...9 → + → − → * → ／ → ＼ → 〉→〈 → . → _ → A
と変わります。⬇を押すと逆順に表示されます。
- スペースを入れたいときは、「_」（下線）を入力します。
- 文字入力を間違えたときは⬅を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- 手順2、3、4の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けてもステーションメモ入力モードになります。また手順6の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けても通常の画面に戻ります。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

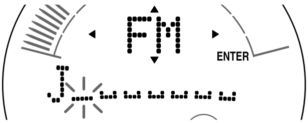
2 MENUボタンを押す。

3 ⬆または⬇を繰り返し押して、「Name Edit」を選ぶ。



4 ENTERボタンを押す。

5 ⬆または⬇を押して入力する文字を選び、➡を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて➡を押します。

6 手順5を繰り返して、名前を入力し終えたらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

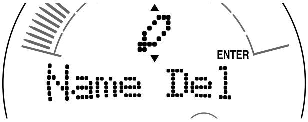
ちょっと一言

「放送局に名前をつける」（34ページ）の手順5で、すべての文字に「_」（下線）を入力して名前を消すこともできます。

放送局の名前を消去する

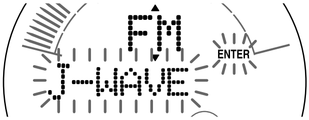
1 **ラジオ受信中にMENUボタンを押す。**

2 **↑または↓を繰り返し押して、「Name Del」を選ぶ。**



3 **ENTERボタンを押す。**

4 **↑または↓を繰り返し押して、消去する放送局名を選ぶ。**



5 **ENTERボタンを2秒以上押し続ける。**

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順4～5を繰り返します。

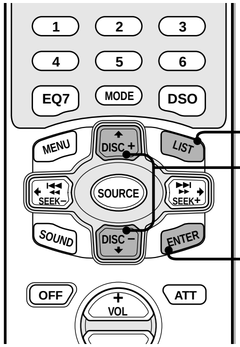
6 **MENUボタンを2回押す。**

通常の画面が表示されます。

ラジオ

放送局を名前で探す
（リスト）

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、34ページをご覧ください。



ご注意

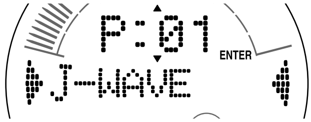
- ワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）では操作できません。
- リスト表示中5秒以内に↑または↓を押さないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

- 選択をキャンセルするにはLISTボタンを押します。
- 現在受信中の放送局名の左右には「▶ ◀」が表示されます。

1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



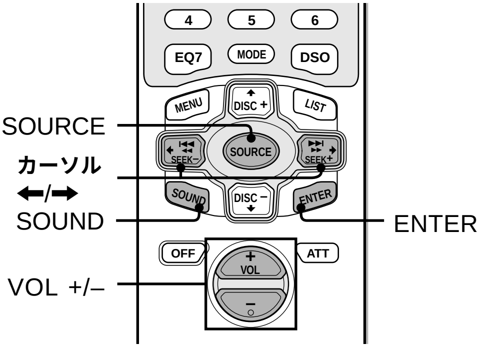
2 ↑または↓を押して放送局を選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

電話をかける

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続すると、携帯電話を手に持たずに通話することができます。相手の音声はカーオーディオのスピーカーから聞こえ、こちらの音声はサンバイザーマイクを通して相手に伝えられます。



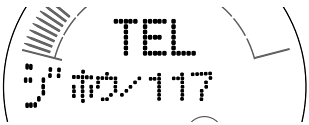
ご注意

- 携帯電話に登録されている名前は、アルファベットとカタカナ、数字のみ表示できます。
  また、小文字や記号は大文字に変換されたり、表示できない場合もあります。
- 電話側の登録可能件数にかかわらず、本機では、携帯電話のプリセット番号000～299（001～300）に登録されているメモリのみを表示します。
- 携帯電話に300件すべて登録されている場合は、アダプター接続後、すべてを表示するのに、最大5分ほどかかります。
- 本機に表示される電波の強さは、携帯電話の表示とは一致しません。
- 次の表示の場合、電話がかけられません。
  —「ケンガイ」：
  圏外のとき
  —「ハッシンフノウ」：
  発信不能のとき
  —「No Phone」：
  電話が接続されていない
- 携帯電話からハンズフリーユニットを外すときは、本機のソースを「TEL」を除く他のソースにしてください。ソースが「TEL」のまま外すと故障の原因となることがあります。

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000に対応する携帯電話に関しては、お買い上げ店にご相談ください。

1 SOURCE**ボタンを繰り返し押して、「**TEL**」表示にする。**

2 VOL**ボタンの**+**または**–**を押して、携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。**



発信/着信履歴にある番号にかけるには
⬅または➡を押して履歴にある番号を探す。
発信/着信履歴の表示のしかたについては、40ページをご覧ください。

元の表示に戻したいときは、SOUNDボタンを押してください。

3 ENTER**ボタンを押して発信する。**



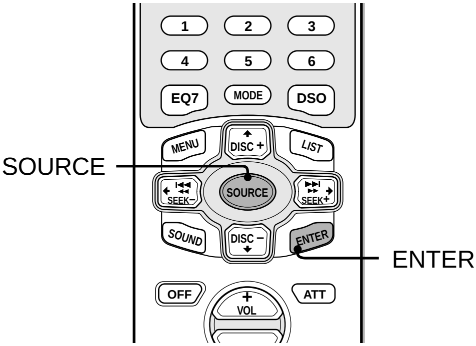
携帯電話

次のページへつづく

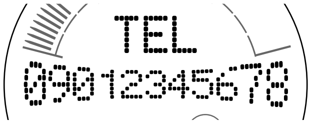
ワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）で操作するには

1. SOURCEボタンを押して「TEL」表示にする。
2. VOLつまみを回して、携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。
3. VOLつまみを押して離すと自動的に発信する。

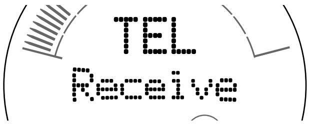
電話を受ける



1　スピーカーと本機から着信音がなり、自動的に「TEL」に切り変わる。

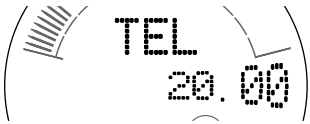


電話機の設定により相手の電話番号を表示します。



番号非通知のときは「Receive」と表示します。

2　ENTERボタンを押す。



電話がつながると、通話時間が表示されます。

電話を受けずに元のソースに戻るには

手順1の次にSOURCEボタンを押します。

ちょっと一言

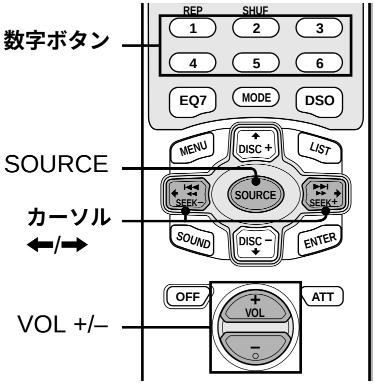
ワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）で電話を受ける場合は、VOLつまみを押して離してください。

ご注意

表示される通話時間は厳密ではありません。目安としてください。

携帯電話

その他の操作



ご注意

- 次の場合、通話が途切れます。
  — SOURCEボタンやMODEボタンを押したとき
  — サービスエリア外や電波が届かない所へ移動したとき
- 携帯電話で通話する際は、ハンズフリーユニットから外さないとご使用になれません。
- 携帯電話をハンズフリーユニットから外すと、発信/着信履歴が消去されます。
- 送信側が非通知の設定になっていた場合、着信履歴は本機に登録されず、表示されません。

ちょっと一言

発信/着信履歴表示で「C:ーー」、「R:ーー」の後ろの番号（1〜10）は発信/着信の順番を表します。

通話が終わったら

元のソースに戻るときは、SOURCEボタンを押す。
通話相手が電話を切ったときは、自動的に元のソースに戻ります。

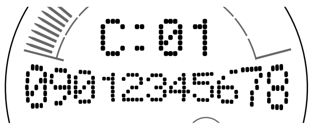
受話器の音量を調節するには

通話中はVOLボタンが音量の調節になります。VOLボタンの+または–を押して、希望の音量に調節してください。

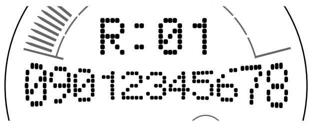
発信・着信履歴を表示するには

➡を押すと発信履歴、⬅を押すと着信履歴がそれぞれ最大10件まで呼び出せます。

発信履歴表示



着信履歴表示

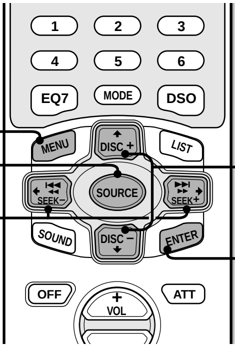


本機に電話番号を登録するには

1 VOL**ボタンの**+**または**–**を押して、登録したい電話番号を表示させる。**

2 **登録したい数字ボタンを**2**秒以上押し続ける。**

その他の設定



着信の設定

- 「チャクシン　キョカ／キョヒ」→ 電話を受けられないようにする。（着信拒否設定）
- 「チャクシンオン　アリ／ナシ」→ 本機の着信音（ピッ、ピッ、ピッ）をON/OFFする。（スピーカーからの着信音はOFFにできません）

1 SOURCE**ボタンを繰り返し押して、「**TEL**」表示にする。**

2 MENU**ボタンを押す。**

3 **↑または↓を押して設定したい項目を選ぶ。**

4 **→を押して設定を選び、**ENTER**ボタンを押す。**

ご注意

メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

発信・着信履歴を消去する

1 SOURCE**ボタンを繰り返し押して、「**TEL**」表示にする。**

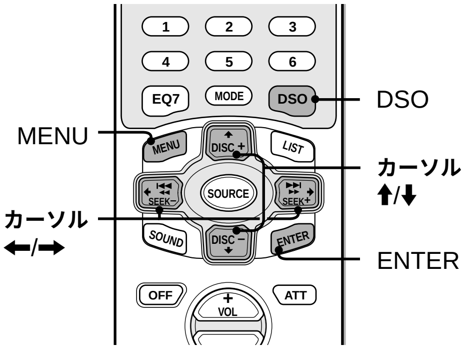
2 MENU**ボタンを押す。**

3 **↑または↓を押して「リレキ　ショウキョ」を選び、**ENTER**ボタンを2秒以上押し続ける。**

「クリア」が数秒間表示され、発信・着信履歴が消去されます。

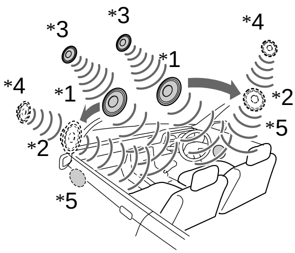
携帯電話

DSOを設定する



スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO（ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー）機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー（バーチャルスピーカー）があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。

バーチャルスピーカーのイメージ



*1 STD
*2 WIDE
*3 STD-SP
*4 WIDE-SP
*5 off（実際のスピーカー（フロントドア下））

ちょっと一言

- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「off」にすると聞きやすくなります。
- 車種やお聞きの曲により、DSOの効果がわかりにくい場合があります。

ご注意

FMステレオ放送受信時にDSO設定の「WIDE」や「WIDE-SP」を選択していると、電波状況の良くない場所で音量が変化して聞きづらくなる場合があります。この場合、DSO設定を「STD」にすると聞きやすくなります。

DSOを選ぶ

設定の種類	設定内容
STD	バーチャルスピーカー（スタンダード）
WIDE	バーチャルスピーカー（ワイド）
STD-SP	バーチャルスピーカー（スタンダードスペシャル）
WIDE-SP	バーチャルスピーカー（ワイドスペシャル）
off	DSO設定解除

1 設定したいソース（CD、MD、ラジオなど）を再生／受信する。

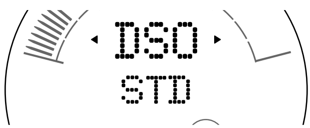
2 DSOボタンを押して、「DSO」表示にする。

3 ⬅または➡（またはDSOボタン）を繰り返し押して、DSOモードを選ぶ。

押すごとに

→ STD ⟷ WIDE ⟷ STD-SP ←
→ off ⟷ WIDE-SP ←

と切り換わります。

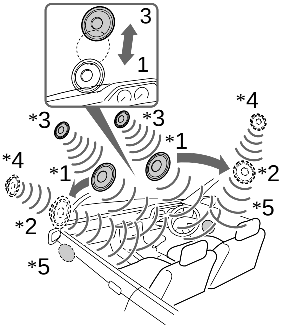


約3秒後に、通常の画面が表示されます。

DSOをやめるには

設定の手順3で「off」を選びます。

効果の調節の目安



*1 STD
*2 WIDE
*3 STD-SP
*4 WIDE-SP
*5 off（実際のスピーカー（フロントドア下））

ご注意

- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- DSOモードの「off」では、音像定位の調節はできません。
- 音像定位の調節をソースごとに設定することはできません。

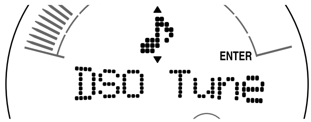
DSOの効果を上下に調節する

4種類のDSOモードには、それぞれの効果の強さを設定することができます。音像定位は1から3まで設定でき、値が大きくなるほど効果が大きくなります。

1 **ソース（CD、MD、ラジオなど）を再生／受信する。**

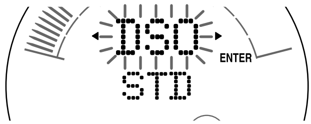
2 **MENUボタンを押す。**

3 **↑または↓を押して「DSO Tune」を選ぶ。**



4 **ENTERボタンを押す。**

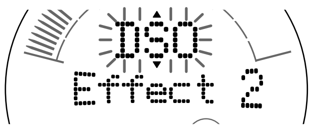
5 **←または→を押して、DSOモードを選ぶ。**



6 **ENTERボタンを押す。**

7 **↑または↓を押して、音像定位の上下を調節する。**

音像定位は1から3の範囲で設定でき、値が大きくなるほど音像定位は高くなります。



8 **ENTERボタンを押す。**

通常の画面が表示されます。

初期設定（工場出荷状態）に戻るには

設定の手順7でENTERボタンを2秒以上押し続けます。

次のページへつづく

ご注意

- この機能はソースごとに設定することはできません。
- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

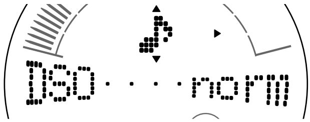
トゥイーターを接続していないときでも、音質が変わります。

トゥイーターに適したDSOの設定

1 **ソース（CD、MD、ラジオなど）を再生／受信する。**

2 **MENUボタンを押す。**

3 **↑または↓を繰り返し押して、「DSO」を選ぶ。**



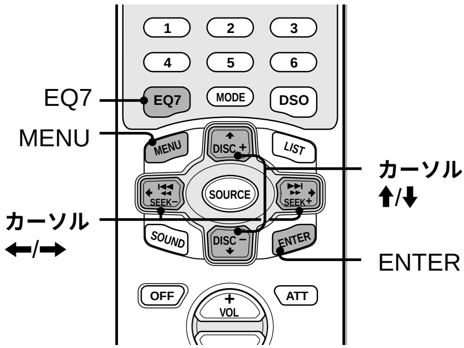
4 **→を押して「norm」または「soft」を選ぶ。**

norm ....通常のDSO
soft ....トゥイーターを接続しているときに適したDSO

5 **ENTERボタンを押す。**

通常の画面が表示されます。

イコライザーを使う（EQ7）



本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。

ご注意

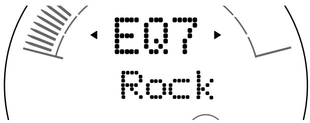
- DSO設定中はDSOの効果を最適化するためにイコライザーの効果を抑えてあります。
- 3秒以内に←または→（またはEQ7ボタン）を押さないと、通常の画面に戻ります。

イコライザーカーブを選ぶ

1 **設定したいソース（CD、MD、ラジオなど）を再生／受信する。**

2 **EQ7ボタンを押して「EQ7」表示にする。**

3 **←または→（またはEQ7ボタン）を繰り返し押して、EQモードを選ぶ。**



押すごとに

→ Vocal ←→ Club ←→ Jazz ←→ New Age ←
→ Xplod ←→ off ←→ Custom ←→ Rock ←

と切り換わります。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには

手順3で「off」を選びます。

サウンドの設定

次のページへつづく

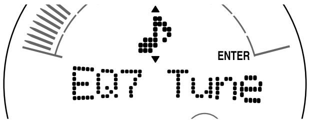
イコライザーを使う（つづき）

好きなイコライザーカーブを登録する

1 **設定したいソース（CD、MD、ラジオなど）を再生／受信する。**

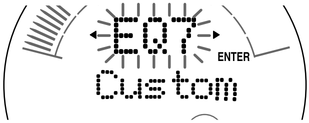
2 **MENUボタンを押す。**

3 **↑または↓を繰り返し押して、「EQ7 Tune」を選ぶ。**



4 **ENTERボタンを押す。**

5 **←または→（またはEQ7ボタン）を繰り返し押して、イコライザーカーブを選ぶ。**



6 **ENTERボタンを押す。**

7 **←または→を押して周波数を選ぶ。**

押すごとに

62 Hz ←→ 157 Hz ←→ 396 Hz ←→ 1.0 kHz ←→ 2.5 kHz ←→ 6.3 kHz ←→ 16 kHz

と切り換わります。

8 **↑または↓を押して、レベルを調整する。**

手順7と8を繰り返して、イコライザーカーブを調節します。

9 **ENTERボタンを押す。**

各プリセットを初期設定（工場出荷状態）にするには

設定の手順7でENTERボタンを2秒以上押し続けます。

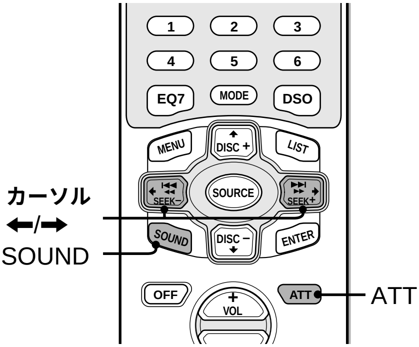
ご注意

- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- 「off」では、イコライザーカーブの調節はできません。

ちょっと一言

レベルの調整可能範囲は±12dBです。

音のバランスや音質を設定する
（バランス）（ATT）（ソースサウンドメモリー）



ご注意

BALはソースごとに設定することはできません。

ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに
  POS → BAL → F（フロント）→ R（リア）→ SUB
  と切り換わります。
- 3秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

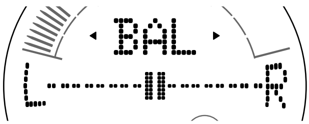
- ワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）のATTボタンでも操作できます。
- 本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。（ナビATT機能）

出力バランスを調節する

左右のスピーカー出力のバランスを調節することができます。

1 **ソース（CD、MD、ラジオなど）を再生／受信する。**

2 **SOUNDボタンを繰り返し押して、「BAL」を表示させる。**



3 **←または→を押して出力バランスを調節する。**

約3秒後に、通常の画面に戻ります。

音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT……on」と表示され、自動的に音量を下げます。

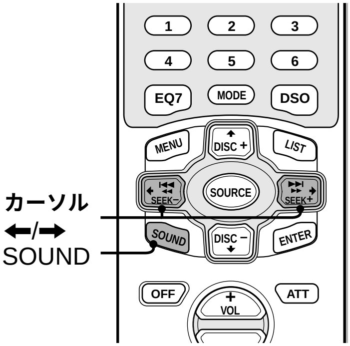
もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。
「ATT……off」と表示され、もとの音量に戻ります。

ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース（FM、AM、CD、MD、Aux Audio）ごとにDSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています（ソースサウンドメモリー）。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

リスニングポジションを設定する（POS）

聞き手の位置（リスニングポジション）を選ぶと、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、自然な音像定位を得ることができます。本機には5種類のリスニングポジションが用意されています。



サウンド（左側）の表示窓



All

Front

Front-R

Front-L



Rear

ちょっと一言

SOUNDボタンを押すごとに
POS → BAL → F（フロント）→ R（リア）→ SUB
と切り換わります。

ご注意

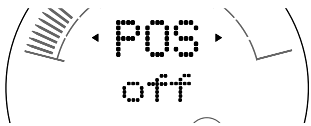
3秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

設定を選ぶ

設定の種類	設定内容
off	ポジション設定解除
All	全席（運転席／助手席／後席）
Front	前席（運転席／助手席）
Front-R	前方右（運転席）
Front-L	前方左（助手席）
Rear	後席

1 **ソース（CD、MD、ラジオなど）を再生／受信する。**

2 **SOUNDボタンを繰り返し押して、「POS」を表示させる。**



ご注意

3秒以内に⬅または➡を押さないと、通常の画面に戻ります。

3 ⬅または➡を押してリスニングポジションを選ぶ。

押すごとに

→ off ←→ All ←→ Front ←
→ Rear ←→ Front-L ←→ Front-R ←

と切り換わります。

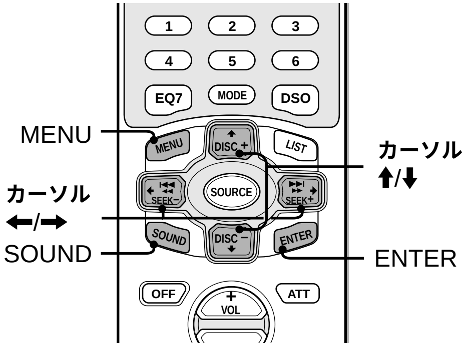
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

リスニングポジション設定を解除するには

設定の手順3で「off」を選びます。

スピーカーの出力を設定する

フロントまたはリア音声出力端子に接続したスピーカーの周波数特性に合わせて、出力レベルおよび周波数帯域を調節することができます。



ご注意

3秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

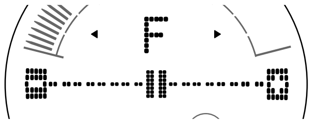
ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに
POS → BAL → F（フロント）→ R（リア）→ 通常画面 → POS
と切り換わります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±12dBです。（−12dBの下は−ooと表示）

出力レベルを調整するには

1 **ソース（CD、MD、ラジオなど）を再生／受信する。**

2 **SOUNDボタンを繰り返し押して、「F」（フロント）または「R」（リア）を表示させる。**

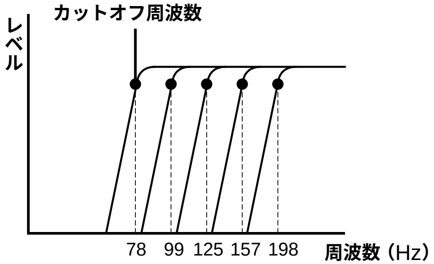


3 **←または→を押して出力レベルを調整する。**

約3秒後に、通常の画面に戻ります。

フロント／リアスピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

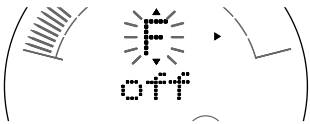
高音質スピーカーの性能を生かしきるためフロントとリアを独立してカットオフ周波数を調整できます。カットオフ周波数を調整することにより、低い周波数成分をカットし、フロント／リアスピーカーの設置場所を意識させない、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、78Hzを選ぶと、78Hz以下の音が除かれます。



1 **ソース（CD、MD、ラジオなど）を再生／受信する。**

2 **MENUボタンを押す。**

3 **⬆または⬇を繰り返し押して、「Front HPF」または「Rear HPF」を選び、ENTERボタンを押す。**



4 **⬅または➡を繰り返し押して、カットオフ周波数を選ぶ。**

5 **⬆または⬇を繰り返し押して、出力レベルを調整する。**

6 **ENTERボタンを押す。**

通常の画面に戻ります。

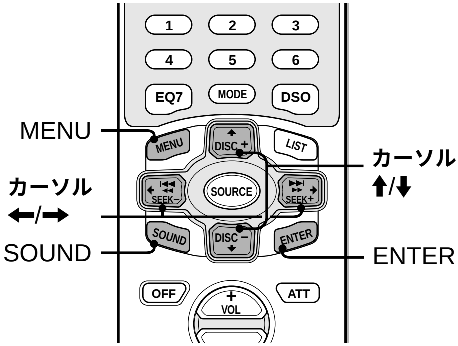
ご注意

メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

⬅または➡を押すごとに
off（初期値）↔ 78Hz ↔ 99Hz ↔ 125Hz ↔ 157Hz ↔ 198Hz
と変わります。

サブウーファー（モノラル）の出力を設定する



サブウーファー（モノラル）音声出力端子に接続したサブウーファーの周波数特性に合わせて、出力レベルを調節することができます。

ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに
  POS → BAL → F（フロント）→ R（リア）→ SUB → 通常画面 → POS と切り換わります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±12dBです。（−12dBの下は−ooと表示）

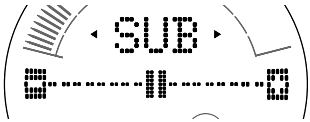
ご注意

3秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

出力レベルを調整するには

1 **ソース**（CD、MD、ラジオなど）**を再生／受信する。**

2 SOUND**ボタンを繰り返し押して、**「SUB」**を表示させる。**

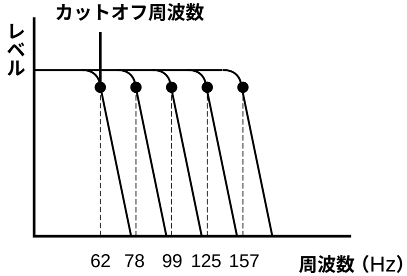


3 **←または→を押して出力レベルを調整する。**

約3秒後に、通常の画面に戻ります。

カットオフ周波数を選ぶ

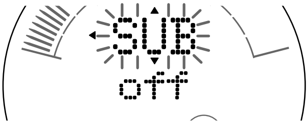
音の指向性（方向）は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



1 **ソース（**CD、MD、**ラジオなど）を再生／受信する。**

2 MENU**ボタンを押す。**

3 **↑または↓を繰り返し押して、「**Sub LPF**」を選び、**ENTER**ボタンを押す。**



4 **←または→を繰り返し押してカットオフ周波数を選ぶ。**

5 **↑または↓を繰り返し押して、出力レベルを調整する。**

6 ENTER**ボタンを押す。**

通常の画面に戻ります。

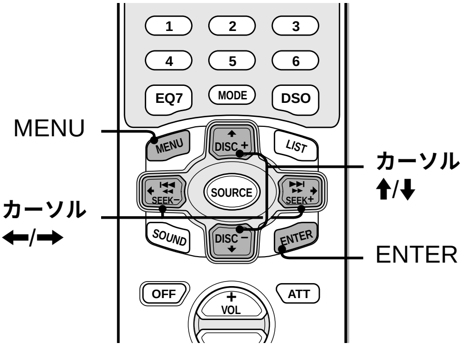
ご注意

メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

←または→を押すごとに
62Hz ←→ 78Hz ←→
99Hz ←→ 125Hz ←→
157Hz ←→ off（初期値）
と変わります。

音や表示などの設定を換える



ご注意

「P.Out」、「AUX-A」、「Demo」の設定をするときは、まずOFFボタンを押してソースの再生/受信をやめます。そのあと、「設定を換える」（55ページ）の手順にしたがって操作してください。

Set upメニュー

設定の種類	設定内容
「Beep」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をon/offする。
「P.Out」＊	フロント/リア音声出力の最大出力レベル（4.0V/5.5V）を設定する。
「AUX-A」＊	SOURCEボタンを押した時の「AUX Audio」の表示の有無を設定する。 「on」 → 本機のAUX IN 端子にDVDポータブルプレーヤーなどを接続する場合にソースメニューに表示する。 「off」 → 本機のAUX IN 端子に何も接続していない場合にソースメニューに表示させない。

＊ ソースの再生/受信を停止中の場合のみ、表示します。

Displayメニュー

設定の種類	設定内容
「D.Info」＊＊	再生/受信中に常に時計を表示させる。
「Demo」＊	再生/受信の停止中にデモまたは好きな文字（58ページ）を表示する。
「L.Meter」＊＊	レベルメーターの表示パターン（[1]～[5]、off、Auto）を選べます。
「M.Dspl」＊＊	外周の表示パターン（[1]～[5]、off、Auto）を選べます。

ちょっと一言

- ⬆または⬇を2秒以上押すと、メニュー項目のカテゴリー***がスキップします。

*** Set up: 一般設定
Dspl: 表示の設定
P.Mode: 再生／受信の設定
Sound: 音質／音響の設定
Edit: 表示文字の設定

- 選べるメニュー項目はソースによって変わります。選んだ項目を変更しないでもとの画面に戻るには、MENUボタンを押します。

ご注意

メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作しないと、通常の画面に戻ります。

「Dimmer」	表示窓の減光を設定する。 「Auto」→ 車の照明をONにすると表示が減光する。（車の照明電源に接続されている場合のみ） 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
「Contrast」	画面のコントラストを調整する（全11段階）

* ソースの再生/受信を停止中の場合のみ、表示します。
** ソースを再生/受信中の場合のみ、表示します。

設定を換える

1 MENU**ボタンを押す。**

2 **⬆または⬇を繰り返し押して設定したい項目を選ぶ。**

3 **⬅または➡を押して調節したい設定にする。**

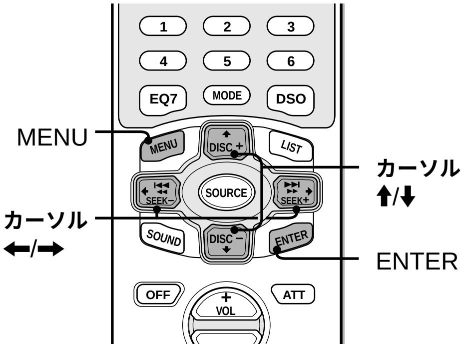
（例：「on」または「off」）

4 ENTER**ボタンを押す。**

その他の操作

LCDカラーを設定する

LCDカラーの色を6種類の中から選ぶことができます。さらにお好みの色に調整し、登録しておくことができます。



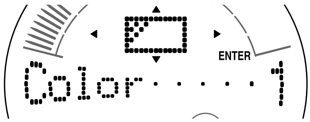
ご注意

メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

LCDカラーを選ぶ

1 **MENUボタンを押す。**

2 **↑または↓ を繰り返し押して、「Color」を選ぶ。**



3 **←または→ を繰り返し押して、LCDカラーを選ぶ。**

押すごとに

→ Color1 ↔ Color2 ↔ Color3 ←
→ Color6 ↔ Color5 ↔ Color4 ←

と切り換わり、LCDカラーも変化します。

4 **MENUボタンを押す。**

LCDカラーの色を調整する

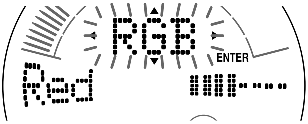
1 MENU**ボタンを押す。**

2 **↑または↓ を繰り返し押して、「**Color**」を選ぶ。**

3 **←または→ を押して、変更したい**LCD**カラーを選ぶ。**

4 ENTER**ボタンを押す。**

5 **↑または↓ を繰り返し押して、調整したい色を選ぶ。**



押すごとに



と切り換わります。

6 **←または→ を押して、レベルを調整する。**

手順5と6を繰り返して、変更したい色にする。

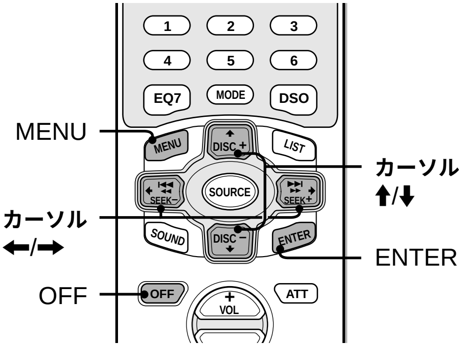
7 ENTER**ボタンを押す。**

各カラープリセットを初期設定（工場出荷状態）にするには

設定の手順5でENTERボタンを2秒以上押し続けます。

デモに好きな文字を表示させる

再生/受信の停止中に好きな文字（言葉や名前）を表示（最大64文字）させることができます。



ちょっと一言

- ⬆を押すごとに A → B → C → ... Z → a → b → c → ... z → 0 → 1 → 2 → ... 9 → ＋→ − → ＊ → ／ → ＼ → 〉 → 〈 → . → ␣ → A と変わります。⬇を押すと、逆順に表示されます。
- スペースを入れたいときは、「␣」（下線）を入力します。
- 手順4の文字選択時に、DSPLボタンを押すと、A → a → 0と変わり、文字カテゴリーをスキップすることができます。
- 文字入力を間違えたときは、⬅を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

ご注意

メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作しないと、通常の画面に戻ります。

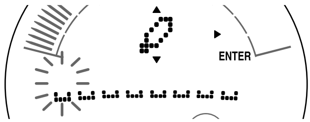
表示させたい文字（言葉や名前）の設定

1 **OFFボタンを押してソース（CD、MD、ラジオなど）の再生／受信をやめる。**

2 **MENUボタンを押す。**

3 **⬆または⬇を繰り返し押して、「Name Input」を選び、ENTERボタンを押す。**

4 **⬆または⬇を押して入力する文字を選び、➡を押して次の文字に移動させる。**



スペースを入れたいときは、続けて➡を押します。

5 **手順4を繰り返して、名前を入力し終えたらENTERボタンを押す。**

通常の画面が表示されます。

名前を消去するには

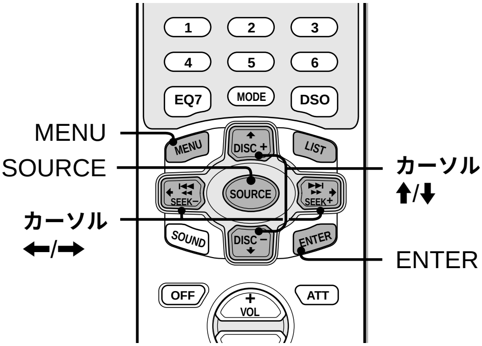
設定の手順4で、ENTERボタンを2秒以上押し続けます。

設定した文字を表示させるには

「音や表示などの設定を換える」（54～55ページ）で「Demo·····on」を選びます。

ポータブル機器の音声を聞く

本機のAUX IN（外部音声入力）端子に接続したDVDポータブルプレーヤー（別売り）などの音声を車のスピーカーから聞くことができます。



ご注意

- ソースが「AUX Audio」時に音量を上げ過ぎると、他のソースに切り換えたとき思わぬ大音量になることがあります。
- メニュー項目表示中5秒以内にボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

- SOURCEボタンを繰り返し押しても「AUX Audio」表示にならない場合は、「音や表示などの設定を換える」（54ページ）の「AUX-A」設定を「on」にしてください。
- 本機に接続した機器によって音量調整は異なります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±6dBです。

ソースを設定する

SOURCEボタンを繰り返し押して、「AUX Audio」表示にする。

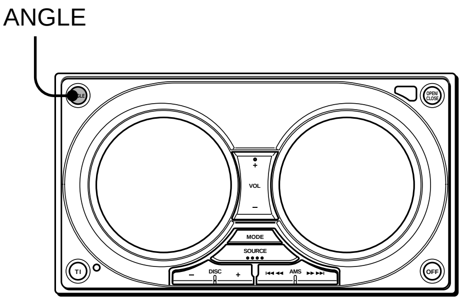


出力レベルを調整する

1. **ソースが「AUX Audio」のときにMENUボタンを押す。**
2. **↑または↓を繰り返し押して、「AUX Level」を選び、ENTERボタンを押す。**
3. **↑または↓を押して出力レベルを接続した機器に合わせて調節する。**
4. **ENTERボタンを押す。**

フロントパネルの角度を変える

フロントパネルの角度を変えて表示を見やすくします。

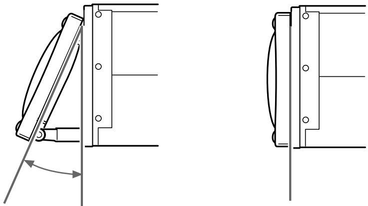


ご注意

- 次の場合、フロントパネルは自動的にTOPの位置に戻ります。指などはさみ込まれないようにしてください。
  — 車のイグニッションキーをLOCKおよびOFFの位置にしたとき
  — OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消したとき
- フロントパネルが押されるなどして角度がずれたときは、一度TOPに戻ってから設定された角度に戻ります。

本体のANGLEボタンを繰り返し押す。

10段階に切り換わります。
さらにANGLEボタンを押すとTOP状態になります。



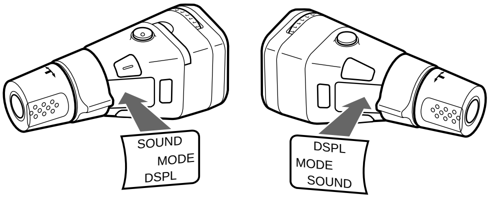
途中でTOP状態に戻すには

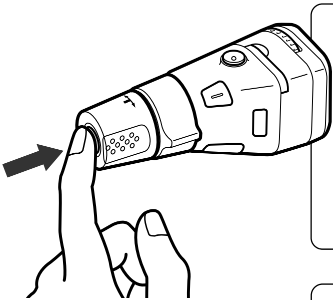
ANGLEボタンを2秒以上押します。

ワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）の操作

ワイヤレスロータリーコマンダーのシールについて

本機はワイヤレスロータリーコマンダー（RM-X5S）で操作できます。ワイヤレスロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

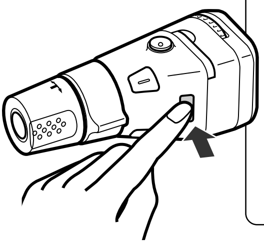




SOURCE（ソース）ボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが
ラジオ（FM/AM）→ CD → MD → AUX Audio → TEL*
と切り換わります。

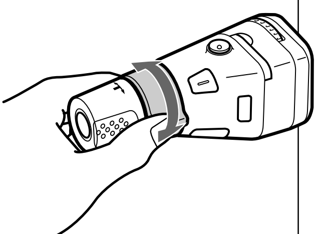
＊ 別売りの機器を接続時のみ表示します。



MODE（モード）ボタンを押すと

ラジオの時：FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
CDの時：CD1 → CD2* → ・・・→ CD1
MDの時：MD1 → MD2* → ・・・→ MD1
と切り換わります。

＊ 別売りの機器を接続時のみ表示します。



SEEK/AMS（シーク/エーエムエス）つまみを短く回して離すと

ラジオ ..... 自動的に放送局を受信する
回し続けると特定の周波数に合わせられます。

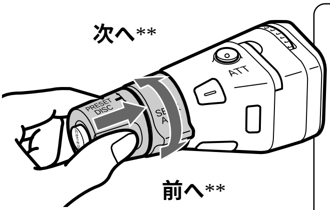
CD/MD .. 曲の頭出しをする
回し続けると早送り／早戻しになり、離すと再生に戻ります。

TEL* .... 発信・着信履歴を呼び出す（最大10件まで）

＊ 別売りの機器が接続されているとき。

次のページへつづく

ワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）の操作（つづき）



VOL（ボリューム）つまみを押しながら回すと

FM/AM .... 登録した放送局を順に受信する

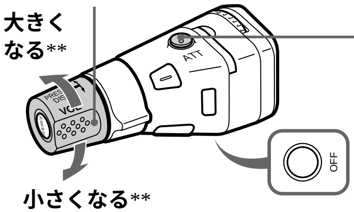
MD/CD .... ディスクを切り換える*

VOL（ボリューム）つまみを押して離すと

TEL .... 発信／着信を行う

* 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されているとき。

音量を調節する***（VOL（ボリューム）つまみを回す）



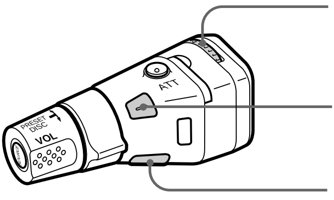
音量を瞬時に下げる（ATT（アッテネート）ボタンを押す）

解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。

再生／受信の停止（OFF（オフ）ボタンを押す）

** 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

*** TEL時は携帯電話に登録されている電話番号を選択するつまみになります。



送信電波の方向を調節する（ダイヤルを回す）

取り付けた位置などで本体が反応しないときなどに調節します。

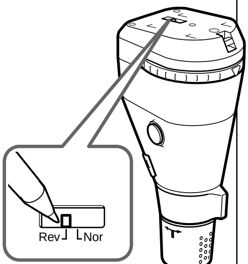
音量調節・音質選択する（SOUND（サウンド）ボタンを押す）

本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

画面表示を変える（DSPL（ディスプレイ）ボタンを押す）

本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える



運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

ボールペンの先などで底面の切り替えスイッチを「Nor」または「Rev」にする

「Nor」... ハンドルコラムの左側に取り付けたときの回転方向（初期設定）

「Rev」... ハンドルコラムの右側に取り付けたときの回転方向

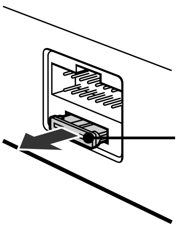
ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」（64ページ）をご覧ください。

使用上のご注意

本体の表面を傷めないために
本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



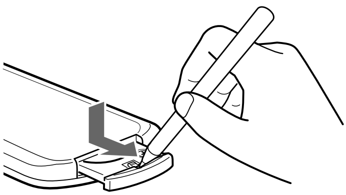
結露について
寒いときにヒーターをつけた直後など、CD/MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CD/MDプレーヤーが動作しないことがあります。
周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。
もし何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

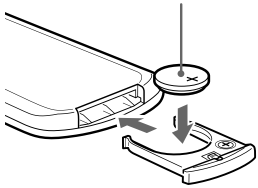
表示窓の結露について
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくもることがあります。
このような場合は、しばらく放置しておくと結露が取り除かれ正常に戻ります。

カードリモコン／ワイヤレスロータリーコマンダー

電池の入れかた

カードリモコン
リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。

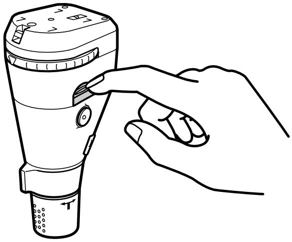




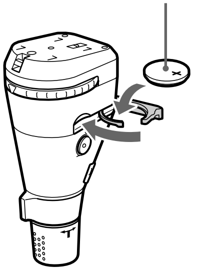
次のページへつづく

ワイヤレスロータリーコマンダー

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



⊕を上向きにする



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンやワイヤレスロータリーコマンダーがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一、電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	• 音量を上げてください。 • ATT機能を解除してください。 • スピーカー接続時：スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。 • 別売りのMDチェンジャーで長時間録音のMDを再生している。曲名表示に「LP：・・・」と出ている。 別売りのMDチェンジャーでは長時間録音のMDは再生できません（2001年10月現在）。 → 本機で再生してください。
	メモリーの内容が消えてしまった。	• リセットボタンを押した。 • バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。 • 電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定を「on」にしてください（54ページ）。
	なにも表示されない。	• OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押し続けて、時計表示を出してください。
	電源が入らない。	• 電源コードが正しく接続されていない。 • 車のイグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。

次のページへつづく

故障かな?（つづき）

	症状	原因・処置
共通	勝手に「ATT」表示が出て音量が下がる。	• 本機のナビ用ATT入力コードとソニー製カーナビシステムのATT出力コードが接続されていると、カーナビシステムの設定により、音声案内中「ATT」表示が出て音量が下がります。 • 本機のナビ用ATT入力コードの先端部分が車の金属部にショートしている。 → コードの先端部分を絶縁テープ等でショートしないように保護してください。
	ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
	電源がOFFにならない。	車のイグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → OFFボタンを2秒以上押し続けてください。
	オートアンテナが上がらない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
	ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
	ワイヤレスロータリーコマンダーで操作できない。	ワイヤレスロータリーコマンダーの電波の送信方向が合っていない。 →「送信電波の方向を調節する」（62ページ）で合わせてください。
	「---------」表示が消えない。	Name Edit（名前入力）モードに入った。 → カードリモコンのLISTボタンを2秒以上押し続けてください。
CD/MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	• すでに別のディスクが入っている。 • ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → ラベル面を上にして入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	• CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが傷ついている。 • 本機の取り付け角度が30°を越えている。 • 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。 • MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

	症状	原因・処置
CD/MD	CD-RまたはCD-RWが再生できない。	• 再生しようとしているCD-RまたはCD-RWがオーディオ用フォーマットになっていない。 • ディスクの記録状態などが良くない。
	MDが再生できない。	何も録音されていないMDが入っている。 →録音済みのMDに入れ換えてください。
ラジオ	受信できない。 雑音しか出ない。	• パワーアンテナコントロールコード（青色）または、アクセサリー電源（赤色）を、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続してください（リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ）。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。 • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。 • IF機能が「Wide」になっている。 →「Auto」にしてください（32ページ）。
	⬅または➡を押しても聞きたい放送局で止まらない。	• 「Local on」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 →「Local off」にしてください（31ページ）。 • 電波が弱くて自動選局できない。 →⬅または➡を押し続けて周波数を合わせてください。
	ステレオ放送が聞きにくい。 「ST」表示が点滅する。	• 周波数を確認してください。 • 電波が弱い。 →モノラルモードに設定してください（31ページ）。 • DSOの設定を「off」にしてください（42ページ）
サウンド設定	音がでない、または音が小さい。	バランス（BAL）、Front/Rearなどのスピーカー出力の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 →BAL、Front/Rearを調節してください（47、50ページ）。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

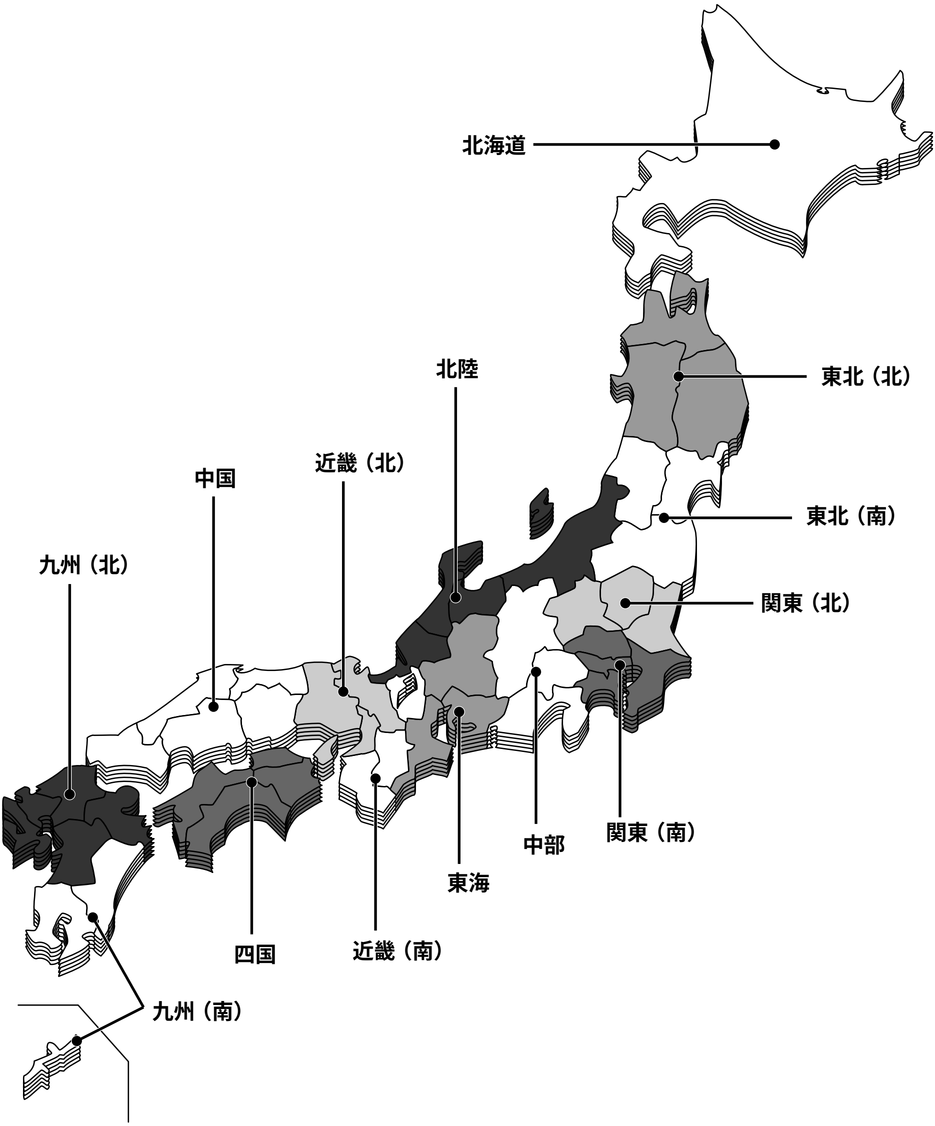
	症状	原因・処置
携帯電話	通話相手の音声が聞こえない。	• スピーカーの音量が最小になっている。 → VOL(+/–)ボタンで音量を調整してください。 • 走行ノイズなど、周囲の雑音が大きいとき、マイクより音声入力があったものと認識して通話相手の音声を閉じてしまうことがあります。
	ダイヤルしたが話中音がしてつながらない。	• 電話番号が間違っている(市外局番を入れていない)。 • 通話相手が圏外にいる。 • 電波の弱いところにいる。 → サービスエリア内でダイヤルしてください。 • アンテナを充分に伸ばしていない。
	ENTERボタンを押しても発信できない。	• 携帯電話の発信制限やメモリ制限がかかっている。 • 携帯電話の簡易ダイヤルロックがかかっている。
	携帯電話機に登録されたメモリが呼び出せない。	• 携帯電話の短縮ダイヤル使用制限などがかかっている。 • 携帯電話ハンズフリーユニットXCH-1000で取り込むことのできるプリセット番号以外の番号に登録されている。(37ページ) • 登録されているメモリ件数が多いため、呼び出すのに時間がかかっている。 → しばらくお待ちください。(最大5分)
	電話がかかってこない。	携帯電話の着信制限がかかっている。
	電話がかからない。	• 「ケンガイ」(圏外)や「ハッシンフノウ」(発信不能)が表示されている。 → しばらく待ってからかけ直してください。 • 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている。 → しばらく待ってからかけ直してください。
	「No Phone」と表示される。	携帯電話が接続されていない。 → 携帯電話を接続してください。

CD/MDのエラー表示

CD機器やMD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
High Temp	周囲の温度が50°C以上になった。	50°C以下に下がってから再生する。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Magazine	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器に入れる。
Not Ready	MDチェンジャー（MDX-40）のフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

エリアコール一覧



放送局一覧

この放送局一覧では、エリアコール機能により本機に記憶されている放送局（2001年9月現在）について記載しています。

北海道

AM　（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK-1（NHK 第 1）	567	585	603	621	675	792	837	927
	945	1026	1161	1188	1341	1584		
NHK-2（NHK 第 2）	702	747	1125	1152	1467	1602		
HBC **ラジオ**（北海道放送）	801	864	900	1098	1269	1287	1368	1404
	1449	1494	1557					
STV **ラジオ**（札幌テレビ放送）	639	882	909	1062	1071	1197	1440	1485

FM　（単位：MHz）

放送局	周波数							
AIR-G’（FM 北海道）	76.4	78.5	79.2	80.4	81.9	83.1	86.4	87.8
	88.8	89.4						
NORTH WAVE（FM ノースウェーブ）	77.2	79.4	79.5	79.8	80.7	82.1	82.5	
NHK FM	81.6	84.3	84.5	85.2	85.8	86.0	87.0	87.5
	88.0	88.2	88.5	89.1	89.9			

東北（北）

AM　（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK-1（NHK 第 1）	531	792	846	963	999	1026	1161	1323
	1341	1503	1584					
IBC **ラジオ**（IBC 岩手放送）	684	1062						
NHK-2（NHK 第 2）	774	1359	1377	1386	1467	1521	1539	1602
ABS **ラジオ**（秋田放送）	936	801	1557					
RAB **ラジオ**（青森放送）	1233	1215	1485					
AFN	1575							

FM　（単位：MHz）

放送局	周波数							
FM **イワテ**（FM 岩手）	76.1	77.0	79.2	79.7	80.3	80.7	82.2	85.9
	89.3							
FM **アオモリ**（FM 青森）	80.0	78.4	81.3	84.3				
FM **アキタ**（FM 秋田）	82.8	77.1	77.7	78.0	78.9	89.2	89.7	
NHK FM	86.0	81.8	82.7	83.1	83.4	83.6	83.8	84.9
	86.7	88.3	85.1	85.5				

次のページへつづく

放送局一覧（つづき）

東北（南）

AM　　（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK-1（NHK 第 1）	891	540	846	981	1026	1161	1323	1341
	1368	1584						
YBC **ラジオ**（山形放送）	918							
NHK-2（NHK 第 2）	1089	1035	1359	1512	1521	1539	1602	
TBC **ラジオ**（東北放送）	1260	801	1215	1557				
RFC（ラジオ福島）	1458	1098	1395	1431				

FM　　（単位：MHz）

放送局	周波数							
Date fm（FM 仙台）	77.1	81.3	81.4	84.1				
FM **ヤマガタ**（FM 山形）	80.4	76.9	77.3	78.2				
フクシマ FM（FM 福島）	81.8	78.6	79.8	82.8				
NHK FM	82.5	82.1	83.3	83.6	84.2	84.3	84.6	85.3
	85.9	86.0	86.1	88.3				

関東（北）

AM　　（単位：kHz）

放送局	周波数		
NHK-1（NHK 第 1）	594		
NHK-2（NHK 第 2）	693		
TBS **ラジオ**（東京放送）	954		
ブンカホウソウ（文化放送）	1134		
IBS（茨城放送）	1197	1458	
ニッポンホウソウ（ニッポン放送）	1242		
CRT（栃木放送）	1530	864	1062

FM　　（単位：MHz）

放送局	周波数						
RADIOBERRY（FM 栃木）	76.4	78.3	78.5	79.1	84.4		
ホウソウダイガク（放送大学）	78.8	77.1					
NHK FM	83.2	80.3	81.6	82.9	83.4	83.7	84.2
FM **グンマ**（FM 群馬）	86.3	76.7	77.8	79.4	82.0	82.2	

関東（南）

AM　　　　（単位：kHz）

放送局	周波数	
NHK-1（NHK 第 1）	594	
NHK-2（NHK 第 2）	693	
AFN	810	
TBS **ラジオ**（東京放送）	954	
ブンカホウソウ（文化放送）	1134	
ニッポンホウソウ（ニッポン放送）	1242	
ラジオニッポン（RF ラジオ日本）	1422	1485

FM　　　　（単位：MHz）

放送局	周波数						
Inter FM（FM インターウェーブ）	76.1	76.5					
BAY FM（FM サウンド千葉）	78.0	77.7	79.3	79.7	87.4		
NACK5（FM 埼玉）	79.5	77.5					
TOKYO FM（FM 東京）	80.0	76.7	84.3				
J-WAVE（FM ジャパン）	81.3						
NHK FM	82.5	80.7	81.9	83.5	83.7	83.9	85.1
FM **ヨコハマ**（横浜 FM 放送）	84.7	80.4					

中部

AM　　　　（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK-2（NHK 第 2）	639	1359	1467	1476	1512	1521	1539	1602
YBS **ラジオ**（山梨放送）	765							
NHK-1（NHK 第 1）	882 1161	540 1341	621 1584	819	927	981	999	1026
SBC **ラジオ**（信越放送）	1098	864	1062	1197	1458	1485		
SBS **ラジオ**（静岡放送）	1404	1557						

FM　　　　（単位：MHz）

放送局	周波数							
K-MIX（静岡 FM 放送）	79.2	78.4	81.6	85.8	85.9	86.6		
FM **ナガノ**（長野 FM 放送）	79.7	78.1	80.3	81.5	81.8	83.3	86.4	88.3
FM-FUJI（富士 FM 放送）	83.0	78.6	80.5					
NHK FM	88.8 85.3	77.4 85.6	82.1 85.7	83.8 86.0	84.0	84.2	84.8	84.9

次のページへつづく

放送局一覧（つづき）

東海

AM　（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK-1（NHK 第 1）	729	792	846	1161	1341	1368		
NHK-2（NHK 第 2）	909	1125	1359	1521	1539	1602		
CBC **ラジオ**（中部日本放送）	1053	801	1062	1557				
トウカイラジオ（東海放送ラジオ）	1332	864	1458					
ギフラジオ（岐阜放送）	1431	720	1197	1485				

FM　（単位：MHz）

放送局	周波数							
ZIP-FM（FM 名古屋）	77.8	77.1						
FM **ミエ**（三重 FM 放送）	78.9	78.1	80.4	83.2	84.9	85.5	85.7	
RADIO-i（愛知国際放送）	79.5							
FM AICHI（FM 愛知）	80.7	81.3						
NHK FM	82.5 85.3	81.8 85.8	82.8 86.1	83.3	83.6	84.4	84.5	84.8
FM **ギフ**（FM 岐阜）	80.0	78.3	81.5	82.1				

北陸

AM　（単位：kHz）

放送局	周波数							
KNB **ラジオ**（北日本放送）	738							
NHK-1（NHK 第 1）	837 1161	540 1224	648 1323	792 1341	927 1368	981 1584	999	1026
FBC **ラジオ**（福井放送）	864	1557						
MRO **ラジオ**（北陸放送）	1107	1485						
BSN **ラジオ**（新潟放送）	1116	1062	1530					
NHK-2（NHK 第 2）	1539	1035	1359	1386	1467	1512	1521	1593

FM　（単位：MHz）

放送局	周波数							
FM **フクイ**（福井 FM 放送）	76.1	80.3	82.0	82.5	86.3	86.4		
FM **ニイガタ（FM ラジオ新潟）**	77.5	80.4	84.7	86.5	79.2			
FM **イシカワ**（FM 石川）	80.5	78.4	81.9	85.5	89.9			
NHK FM	82.3 83.0	81.5 83.2	82.2 87.8	83.4 85.1	83.5	84.4	84.9	86.0
FM **トヤマ**（富山 FM 放送）	82.7	84.6	85.8					

近畿（北）

AM

（単位：kHz）

放送局	周波数						
AM KOBE（ラジオ関西）	558	1395					
NHK-1（NHK 第 1）	666	621	999	1026	1161	1341	1584
NHK-2（NHK 第 2）	828	1359	1539	1602			
ABC **ラジオ**（朝日放送）	1008						
KBS **キョウト**（京都放送）	1143	1215	1485				
MBS **ラジオ**（毎日放送）	1179						
OBC（大阪放送）	1314						

FM

（単位：MHz）

放送局	周波数							
FM COCOLO（関西インターメディア）	76.5							
FM 802	80.2							
FM osaka（FM 大阪）	85.1	77.4						
NHK FM	88.1 83.5	82.8	82.9	83.9	84.2	84.8	86.5	88.6
FM KYOTO（FM 京都）	89.4	79.8	81.3	85.4	87.2			
Kiss-FM（兵庫 FM ラジオ放送）	89.9	77.6	78.3	78.4	79.9	87.1	87.9	

近畿（南）

AM

（単位：kHz）

放送局	周波数				
NHK-1（NHK 第 1）	666	945	1026	1161	1584
NHK-2（NHK 第 2）	828	1359	1602		
ABC **ラジオ**（朝日放送）	1008				
KBS **キョウト**（京都放送）	1143	1215			
MBS **ラジオ**（毎日放送）	1179				
OBS（大阪放送）	1314				
WBS **ラジオ**（和歌山放送）	1431	1233	1485	1557	

FM

（単位：MHz）

放送局	周波数							
E-Radio（FM 滋賀）	77.0							
FM802	80.2	78.3						
NHK FM	84.0 87.4	81.8 88.1	82.8	83.2	83.7	83.8	83.9	84.7
FM osaka（FM 大阪）	85.1	77.4						
FM KYOTO（FM 京都）	89.4	79.8	81.3	85.4	87.2			

次のページへつづく

放送局一覧（つづき）

中国

AM

（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK-2（NHK 第 2）	702 1521	1035 1593	1125 1602	1152	1359	1377	1386	1467
KRY ラジオ（山口放送）	765	918	1485					
BSS ラジオ（山陰放送）	900	1431	1557					
NHK-1（NHK 第 1）	1071 1161	603 1296	675 1323	846 1341	927 1368	963 1584	999	1026
RCC ラジオ（中国放送）	1350	1458	1530					
RSK ラジオ（山陽放送）	1494							
AFN	1575							

FM

（単位：MHz）

放送局	周波数							
FM オカヤマ（岡山 FM 放送）	76.8	82.9	83.8	84.1				
FM サンイン（FM 山陰）	77.4	77.2	78.8	82.1	83.4	86.6		
ヒロシマ FM ホウソウ（広島 FM 放送）	78.2 82.3	76.4 83.5	77.1 86.3	77.8	80.4	81.3	81.4	81.7
FM ヤマグチ（FM 山口）	79.2	77.7	77.9	78.6	81.6	88.6		
NHK FM	88.3 84.8	80.1 85.3	83.1 85.5	83.3 85.7	83.7 85.8	84.0 85.9	84.3 88.7	84.5

四国

AM

（単位：kHz）

放送局	周波数							
RKC ラジオ（高知放送）	900	1197	1395	1557				
NHK-1（NHK 第 1）	990 1323	792 1341	846 1368	945 1584	963	999	1026	1161
RNB（南海放送）	1116							
NHK-2（NHK 第 2）	1152 1602	1035	1359	1467	1476	1512	1521	1539
JRT ラジオ（四国放送）	1269							
RNC ラジオ（西日本放送）	1449							

FM

（単位：MHz）

放送局	周波数							
FM カガワ（FM 香川）	78.6							
FM エヒメ（FM 愛媛）	79.7	77.6	78.8	80.0	82.1	89.2		
FM トクシマ（FM 徳島）	80.7	77.7	78.4	82.3				
FM コウチ（FM 高知）	81.6	78.5	80.6	81.3	82.7			
NHK FM	86.0 87.7	83.4	84.4	84.8	85.7	86.5	87.0	87.5

九州（北）

AM

（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK-1（NHK 第 1）	612 963	540 981	639 1026	684 1161	756 1323	819 1341	846 1503	945 1584
NHK-2（NHK 第 2）	1017	873	1377	1467	1512	1521	1602	
OBS **ラジオ**（大分放送）	1098	1269	1557					
NBC **ラジオ**（長崎放送）	1233	1116	1431	1449	1458			
RKB **ラジオ**（RKB 毎日放送）	1278	1062						
KBC **ラジオ**（九州朝日放送）	1413	720	1485					

FM

（単位：MHz）

放送局	周波数							
Love FM（九州国際 FM）	76.1	82.7						
FM **サガ**（FM 佐賀）	77.9	79.9						
CROSS-FM（FM 九州）	78.7	77.0	86.5	87.2	87.8			
SMILE-FM（FM 長崎）	79.5	77.8	78.9	79.2	80.3			
FM **フクオカ（FM 福岡）**	80.7	80.0	81.8	82.1	87.0			
NHK FM	84.8 84.5	81.6 85.4	82.2 85.7	82.5 85.8	82.8 86.0	83.0 86.2	83.4 88.9	83.6
FM **オオイタ**（FM 大分）	88.0	84.9	85.1	89.3				

九州（南）

AM

（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK-1（NHK 第 1）	576 1341	531 1368	540 1584	549	621	792	1026	1161
AFN	648							
RBC（琉球放送）	738	1152						
ROK（ラジオ沖縄）	864							
MRT **ラジオ**（宮崎放送）	936							
MBC（南日本放送）	1107	1062						
NHK-2（NHK 第 2）	1386	1125	1359	1467	1512	1521	1539	1602
RKK **ラジオ**（熊本放送）	1197							

FM

（単位：MHz）

放送局	周波数						
FM **ナカキュウシュウ**（FM 中九州）	77.4	76.8	76.9	78.4	80.4	81.3	82.0
FM **カゴシマ**（FM 鹿児島）	79.8	76.6	79.0	80.5			
FM **ミヤザキ**（FM 宮崎）	83.2	80.7	84.9	89.5			
NHK FM	86.2 88.1	82.2 84.4	84.1 83.7	84.7	84.8	85.6	87.0
FM **オキナワ**（FM 沖縄）	87.3						
AFN	89.1						

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	95dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

MDプレーヤー部

SN比	95dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz（テレビ1～3ch）
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30～15,000Hz
実効選択度	75dB（400kHz）
SN比	66dB（ステレオ） 74dB（モノラル）
ひずみ率（1kHz）	0.4%（ステレオ） 0.3%（モノラル）
チャンネルセパレーション	35dB以上（1kHz/WIDE時）

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV

グラフィックイコライザー部

中心周波数	63Hz、157Hz、396Hz、1kHz、2.5kHz、6.3kHz、16kHz
可変範囲	±12dB

アンプ部

適合インピーダンス	4～8Ω
最大出力	52W×4（4Ω負荷1kHz）

電源部、その他

電源　DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）

出力端子　サブウーファー（モノラル）、音声出力端子、フロント音声出力端子、リア音声出力端子、アンプコントロール、アンテナコントロール

入力端子　バス音声入力端子、バスコントロール入力端子、AUX IN（外部音声入力）端子、ATT入力端子（ナビ用）、メインアンテナ（FM/AM用）入力端子（Jaso用）、サブアンテナ（FM用）入力端子（Jasoミニ用）、イルミコントロール入力端子

本体寸法　約178×100×194mm（幅/高さ/奥行き）

取付寸法　約178×100×165mm（幅/高さ/奥行き）

質量　約3kg

付属品　カードリモコン
RM-X110（1）
（リチウム電池（1）を含む）
取り付け/接続部品（一式）
取扱説明書（一式）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）

別売品　CDチェンジャー（10枚）
CDX-848X、
CDX-747Xなど
MDチェンジャー（6枚）
MDX-65など
MG-MSシステムアッププレーヤー
MGS-X1
PDCハンズフリーユニット
XCH-1000
パワーアンプ
XM-754SX、
XM-405EQX2、
XM-1502SXなど
アクティブサブウーファー
XS-AW5X
ソースセレクター
XA-C30
ワイヤレスロータリーコマンダー
RM-X5S
バスケーブル（RCAピンコード付属）
RC-61（1m）、
RC-62（2m）
バス延長コード
RC-U305（0.5m）
RCAピンコード
RC-63（1m）、
RC-64（2m）、
RC-65（5m）
電源コード　RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機は、「ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品」です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ、マ、ヤ行

ラ、ワ行

アルファベット順

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月～金　9:00～18:00
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax…………………………… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Sony Corporation　Printed in Japan

＊I-3-235-550-01＊(1)